

IV. 施設デザイン

4-1 デザインコンセプトの展開

街路景観を構成する要素は、道路本体の他に沿道の建物、遠景等を含め多種多様であり、またこのことが街路景観の特色とも言える。

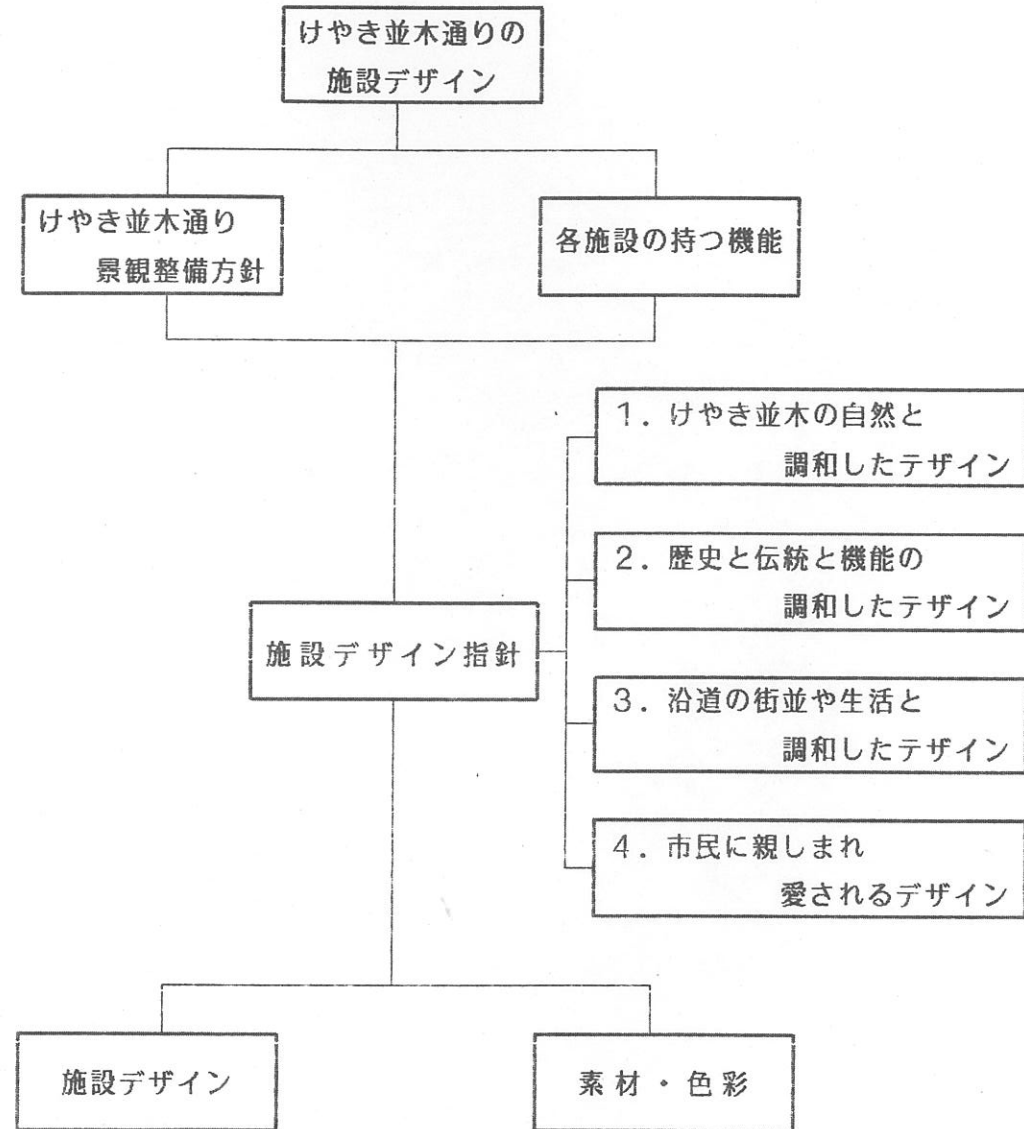
街路景観構成要素の基本分類

- | | |
|-----|---|
| 道 路 | 道路本体（路面・マーキング等）
道路植栽（高木・低木・植樹樹等）
道路付属物（道路標識・防護柵等）
道路占有物（電柱・バス停等） |
| 沿 道 | 建築物（商業・業務ビル・住宅等）
広告・看板（袖看板・屋上広告物等）
敷地囲障（塀・柵・生垣等）
空地（広場・公園・河川等） |
| 遠 景 | 自然要素（山岳・海・森林等）
人工要素（塔・城郭等） |
| その他 | 自動車・歩行者等の人間活動
ガス・下水道等の地下施設 |

けやき並木通りの景観を構成する要素の中で最も大きいのは、言うまでもなくケヤキの姿であり、けやき並木通りの景観を特徴付けている。従って施設デザインを進める上で、夫々の施設がけやき並木と調和することが大切である。

施設デザインにおいては、景観整備方針を基にデザイン指針を設定する。

施設デザインコンセプト



(1) 施設デザイン

1. けやき並木の自然と調和したデザイン

けやき並木は、景観を構成する最も重要な要素である。従って施設デザインはけやき並木の保全を最優先とし、ケヤキの姿と調和したデザインとする。

2. 歴史と伝統と機能の調和したデザイン

けやき並木通りは歴史と伝統を象徴しており、生活の場としても時を刻んできた。

施設デザインにおいては、この様な歴史と伝統を継承しつつ施設の持つ機能を調和させ、現代にふさわしいデザインを創造していく必要がある。

3. 沿道の街並や生活と調和したデザイン

けやき並木通りは、大国魂神社の参道として発展してきたと同時に、中心市街地として商業・業務活動の中心となっている。

施設デザインでは、参道のイメージを持たせ、現在の沿道の街並や商業・業務活動等とも調和したデザインとする。

4. 市民に親しまれ、愛されるデザイン

けやき並木は府中市の象徴であり、未来に向かって市民の文化拠点として整備していかなければならない。その中で道路施設は、けやき並木の利用者にとって最も身近な存在である。従って、現在はもとより将来を通じて、市民に親しまれ、市民から愛され、府中市を代表するデザインとする必要がある。

(2) 素材・色彩

舗装・縁石・ストリートファニチャー等の施設デザインは、形によって表現されると同時に、素材や色彩もデザインにおける重要な要素となる。

a. 色彩

色彩は素材の質感、受ける気象条件あるいは見る人の心理等によって多様に感じとられるものであるが、けやき並木全体の施設デザインに秩序と幅を持たせるために、次のことを検討する。

- ①基調色……………ケヤキのみどりと調和し、自然と一体感のある落ち着いた印象を与えるもの
- ②サブカラー……………単一の色彩による単調さに、幅を持たせるサブカラーの導入
- ③アクセントカラー…統一された色彩構成に変化あるいは多様性を与えるアクセントカラーの導入

①施設の基調色

けやき並木の基調色は、次の点に配慮する必要がある。

- ・神社・参道のもつ日本の伝統的な色彩となじむ、落ち着いた深みのある色彩
- ・背景となるケヤキのみどりと融合し、自然の色とよくなじみ、引き立たせる色彩
- ・気象の変化により、様々な表情を伝える色
- ・ベースとなる色であり、どの色相と接しても調和がはかれる。

以上を考慮し、けやき並木の基調色をグレー系の無彩色の落ち着いた色調とする。

②サブカラー

施設全体を無彩色により統一した場合、単調さ、重苦しさ、冷たさ、という印象を与える恐れも伴なう。従って、木の材質の暖かさを持つ薄茶色をサブカラーとする。

③アクセントカラー

サブカラーと同様に、基調色だけの単調さをおぎなうために、ポイントにアクセントカラーを導入し、感動を与える工夫をする。

b. 素材

素材と色彩は、相互に深い関連を持っている。

ケヤキは木であり、大国魂神社の参道は石ダタミである。道路施設においても、自然の素材や自然に近い素材を利用すると同時に、木の枠組みや石の土台等、部分的に自然の素材を導入する必要がある。

4-2 施設デザイン

(1) 緑地帯整備計画

緑地帯の整備は、けやき並木景観整備の中で最も重要でかつ早期に実現していかなければならない。

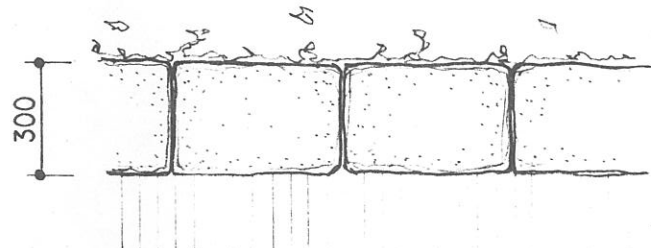
緑地帯の整備は次の3つに大別できる。

- ケヤキ自体の保護
- 植栽基盤（土壌）の整備
- 散水設備・雨水利用

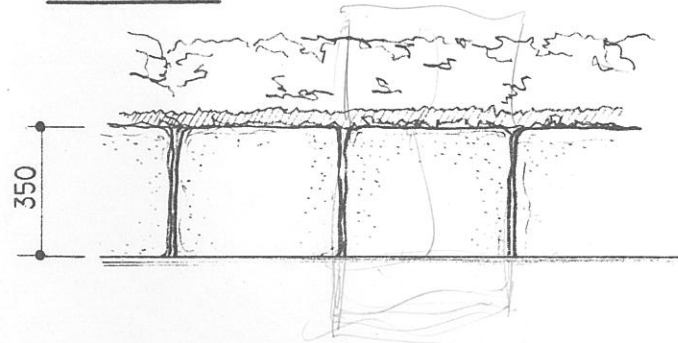
緑地帯の整備手法として次の項目が上げられる。

- ① けやき並木の保護・補植
ケヤキの新植・外科手術の施工等を計画的に継続する。
- ② 縁石の改良
縁石を改良し、景観に調和したものとする。
- ③ 緑地帯の拡幅
緑地帯の幅を広げると同時に、新設部は十分な緑化基盤の形成を図る。
- ④ 土壌基盤の向上
パーク堆肥等によるマルチング、土壌改良、樹勢回復工等の対策を構じる。
- ⑤ 散水施設の整備
散水栓を整備すると同時に、灌水パイプ等の施設を設置する。
- ⑥ 雨水の有効利用
路面排水の有効利用を図るために、透水舗装・浸透柵・浸透トレンチ等を整備する。

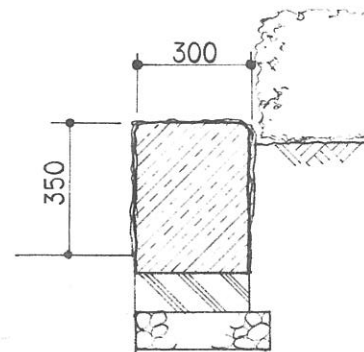
平面図



立面図



断面図

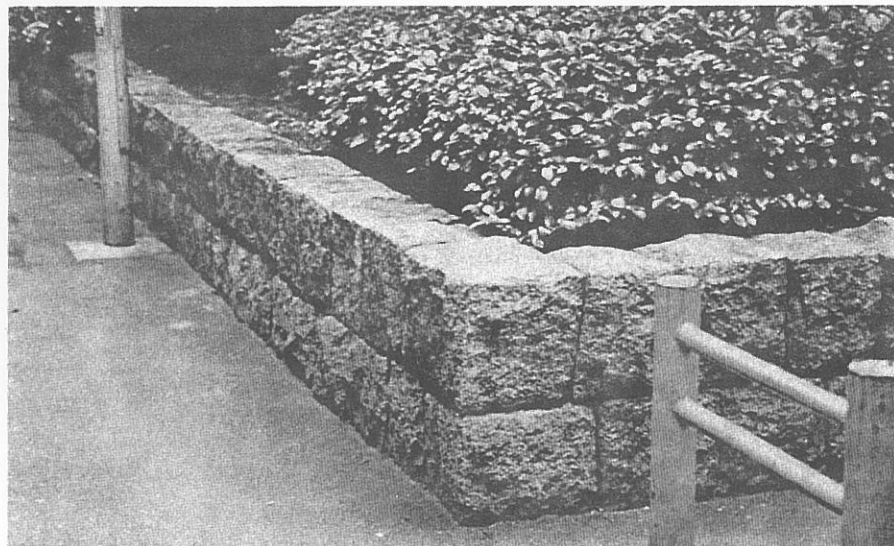


摘要

材質 …… 自然石（割石）
割肌コブ出し仕上げ

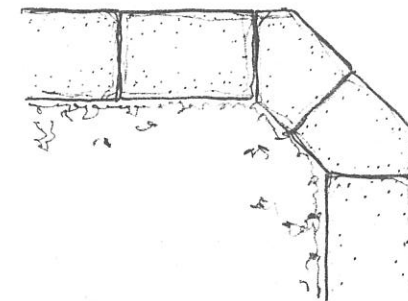
- ・自然石であり、緑と最もなじみが良い。
- ・仕上げが割肌コブ出しであり、自然の素材感と重量感がある。
- ・加工品であり形状の統一が可能のため、舗装材のすり付けが容易である。
- ・時間の経過とともに落ち着きが増す。
- ・縁石の高さは、形状の変更、多段積み等で対応が可能である。
- ・施工性が良い。

事例写真

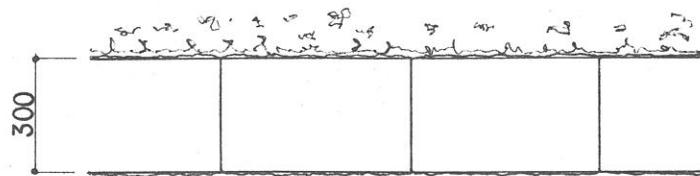


端部平面図

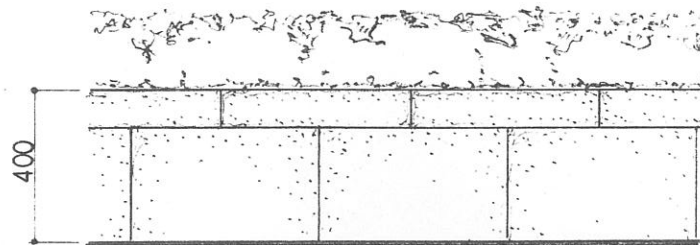
- ・端部を隅切し、割石の持つ堅さをやわらげる。



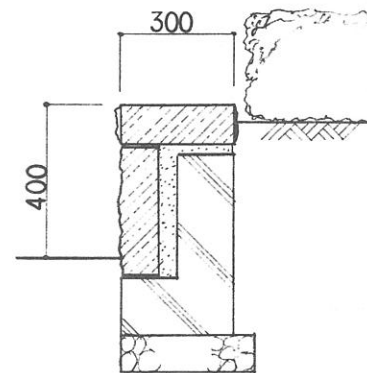
平面図



立面図



断面図

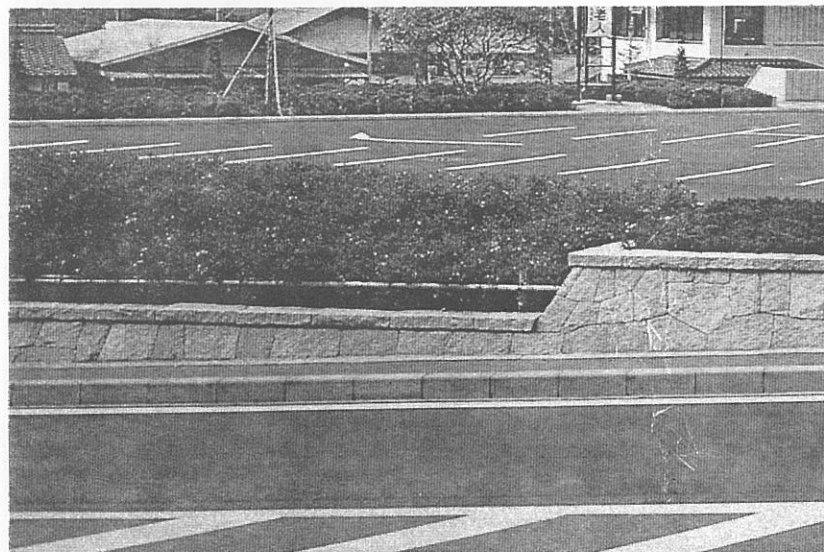


摘要

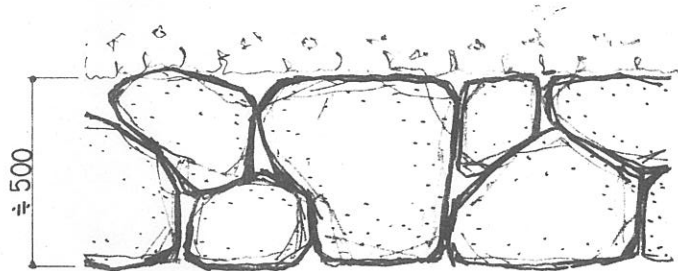
材質 …… コンクリート基礎
+ 自然石（切石）

- コンクリート基礎の表面に自然石（切石）を貼り、天端に笠石を置く。
- 天端を機械仕上げ、側面を割肌仕上げとする。
- 素材は自然石であるが、機械切りであり直線部が多いため、人工的な表情となる。
- 割石縁石に比較して施工性は劣る。

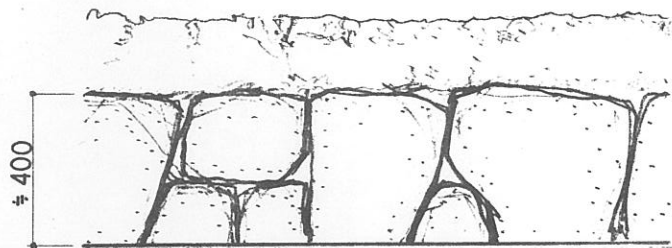
事例写真



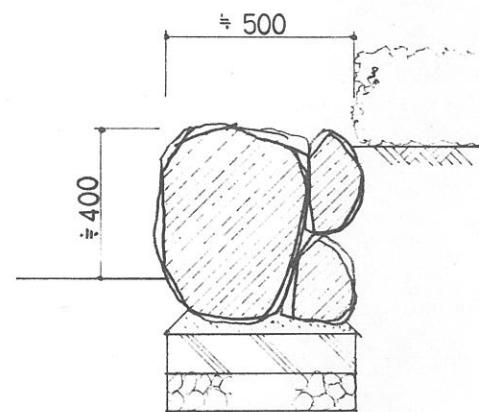
平面図



立面図



断面図

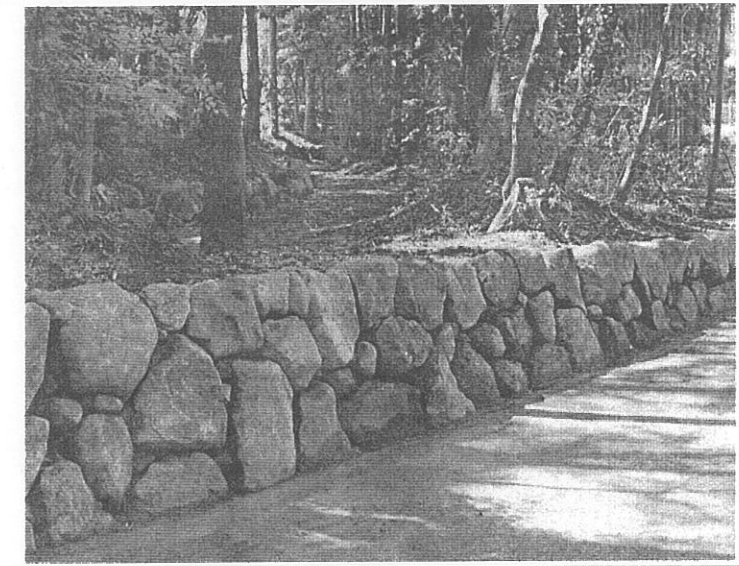
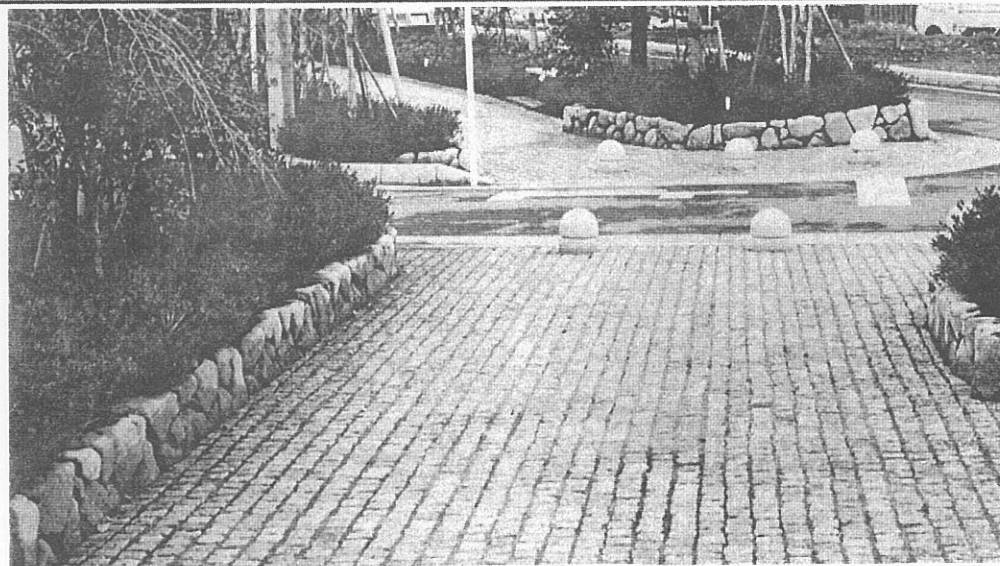


摘要

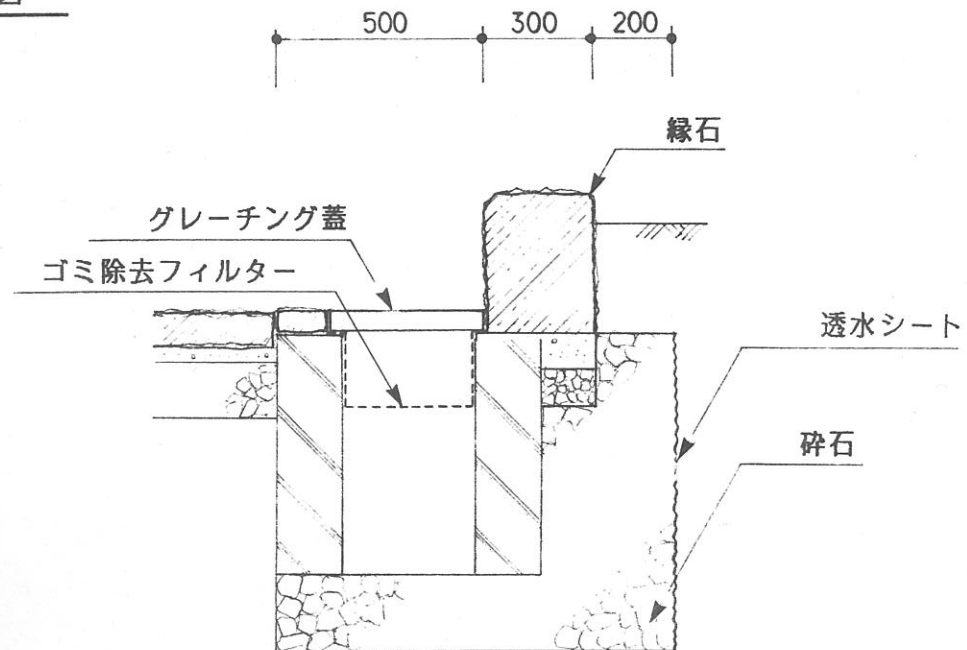
材質 …… 自然石（野面石）

- 自然の形である野面石を積むので、自然の雰囲気が出せる。
- 野面石のため縁石の幅が大きくなる。また、石の間にモルタルを充填するため、モルタル面が露出する。
- 形状の統一が困難であり繁雑となる。
- 施工性に欠ける。

事例写真



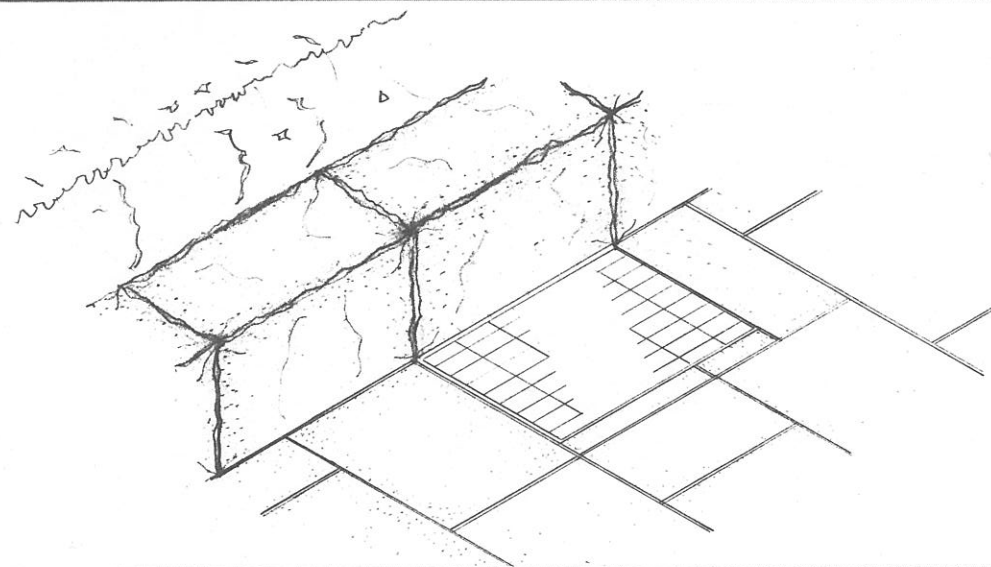
断面図



摘要

- ・舗装の表面排水を集水し、浸透樹により雨水を地中に浸透させる。
- ・雨水の流出抑制の効果がある。
- ・樹間の排水は、浸透トレンチで行う。
- ・落葉期等を考慮して、樹内にゴミ除去フィルターを設置する。

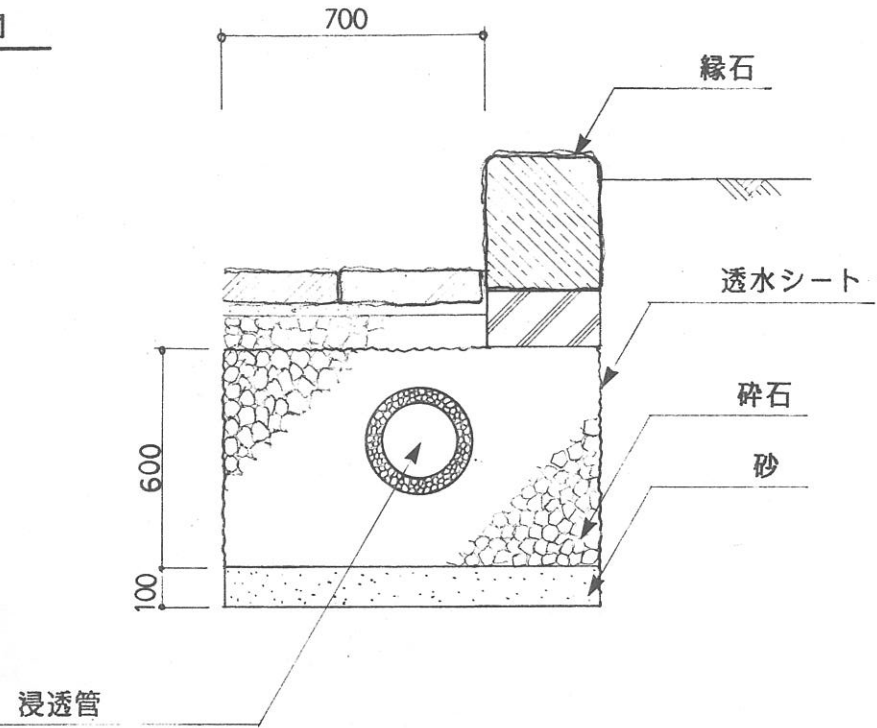
イメージスケッチ



緑地帯整備計画

浸透トレンチ

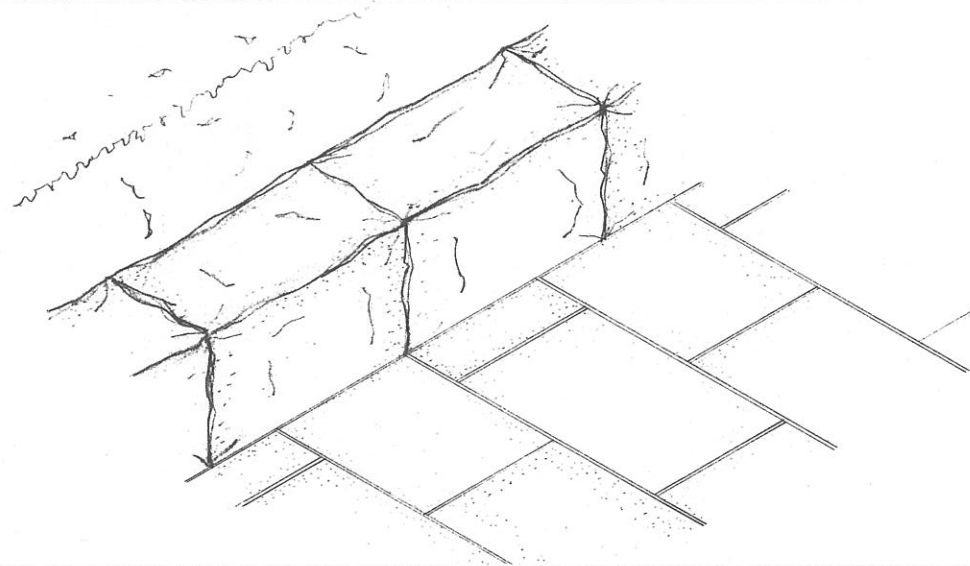
断面図



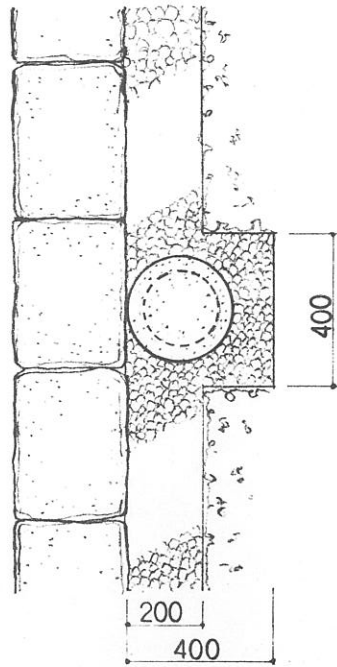
摘要

- ・集水樹間は、浸透トレンチによって排水する。
- ・樹木への雨水補給の他に、流出抑制の効果がある。

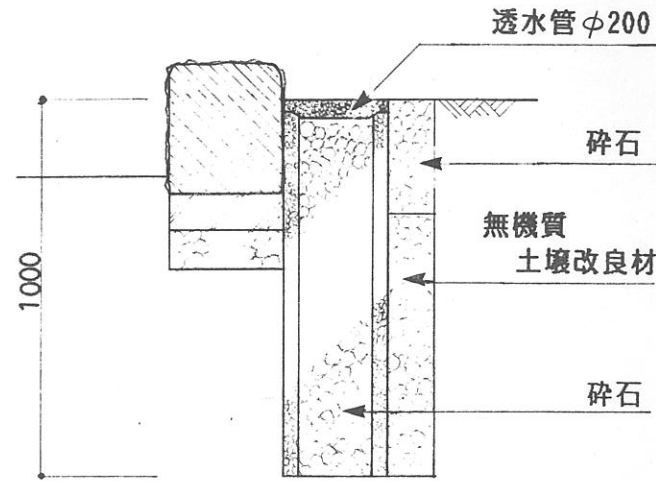
イメージスケッチ



平面図



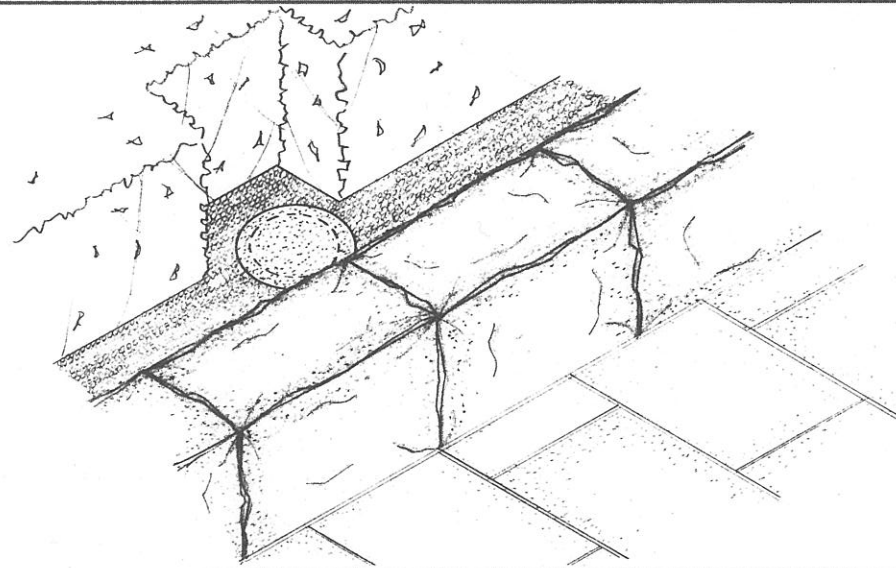
断面図



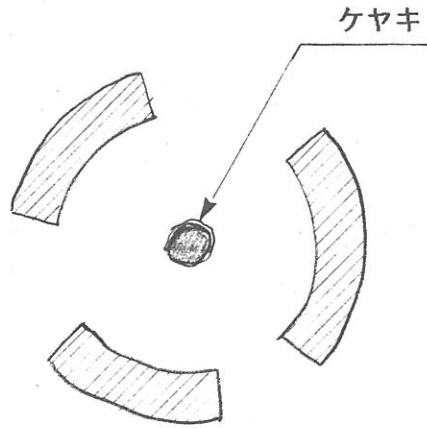
摘要

- ・表面に散水したとき地表面を流れ、根が最も多く分布する深さ1m程度まで浸透するのは困難である。
- ・適当なピッチで透水管を埋設し、その中に灌水する。
- ・透水管の周囲は無機質土壌改良材を入れ、保水性と共に通気性を高める。

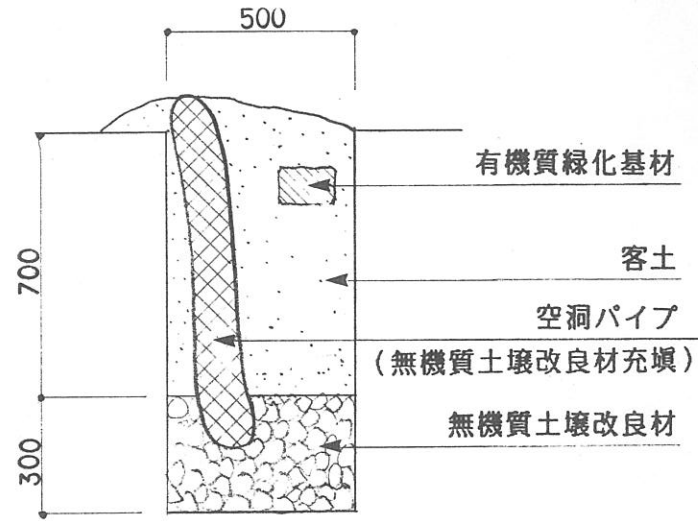
イメージスケッチ



平面図



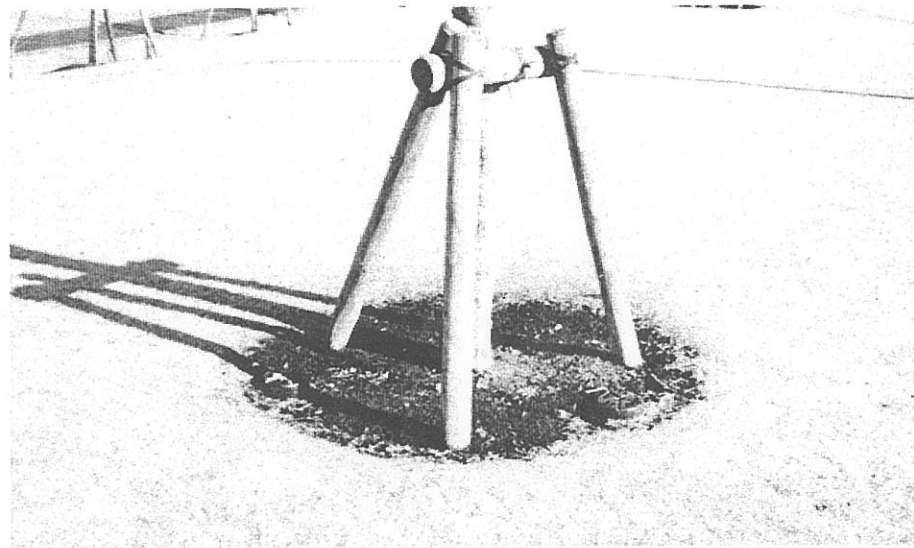
断面図



摘要

- ・樹木の周辺に設け、保水効果・排水及び通気性の向上を図る。

事例写真



(2) 舗装整備計画

路面はけやき並木のみどりについて、けやき並木景観を構成する重要な要素であり、歩行者にとって最も身近な存在である。

1. 舗装材に要求される条件

舗装材は、道路空間を特徴付ける基本的な要素であり、一般に舗装材に要求される条件は次の7項目である。

- ・強度及び耐久性…交通荷重に耐える強度や耐磨耗性等
- ・歩行性 ……平坦で滑りにくいもの、晴天時の照り返し等
- ・設計適性 ……材料の選択性、平面・スロープ等への適応性等
- ・施工性 ……施工技術の容易さ、施工期間等
- ・維持補修 ……維持・管理の容易さ
- ・経済性 ……建設費・維持管理費が安価
- ・地域性 ……地域の歴史や特性に適合するもの

このうち歩道舗装については、車道舗装に比較して強度及び耐久性に関する要求は小さくなるが、快適性やデザインに対する要求は大きくなる。

また、けやき並木においては、一般の街路より歴史をベースにした地域性に対する要求が大きい。

2. 舗装材の検討

けやき並木通りは、道路形態により中央の車道部と両側の側道・歩道部に分けられる。

計画では、中央車道部のモール化及び側道・歩道部の一体化を考慮し、検討することが必要である。

けやき並木通り全体の舗装のテーマを、大國魂神社参道の石敷のイメージを中心として、擬石タイル、洗い出し平板等を含めた自然に近い素材で統一感を出す。

自然石や自然に近い素材の使用は、けやき並木の自然の姿にもなじみ良く調和すると共に、時間の経過により落ち着きが増していく。

①中央部の舗装

中央部は、現在車道としてアスファルト舗装になっている。

この部分は、周辺地区の都市施設の進捗に合わせて車両通行が制限され、最終的には車両の進入のないフルモールとして計画していく。

中央部は、大国魂神社・鳥居の軸線上に位置し、両側にけやき並木を配しており、神社の参道を強くイメージする部分である。

従って、将来フルモール化された時点で自然石の敷石とし、強く神社の参道をイメージさせる。但し、フルモール化ができるまでは、車道の舗装仕様として洗い出しインターロッキングブロック舗装の導入を検討する必要がある。

②歩道部の舗装

現在の側道部と歩道部を一体化し、歩行者空間として整備する箇所である。

けやき並木の中央部は、神社に向かって南北の方向軸を持っているが、側道部は、南北の縦軸と建物に向かう横軸とが混在する。また、沿道の建物が業務・商業ビルであり、今後、ますます商業施設へ移行することが予想されるため、参道のイメージを基調としながらも、ショッピングモールの雰囲気を持った舗装であることが必要となる。

従って、自然石による石敷の他に、擬石タイル、洗い出し平板、擬石平板等を組み合わせることによって、舗装に変化を持たせる工夫をする。また、けやき並木通りと他の街路の取付部やポイントとなる箇所、交差点部分等は、舗装材や舗装パターンの変化によるアクセント舗装とする。

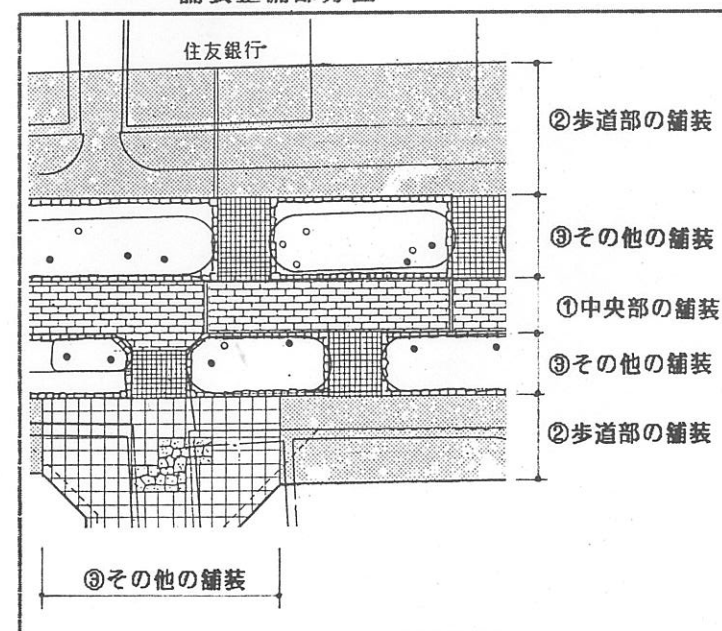
③その他の舗装

緑地帯と緑地帯の間の部分は、中央部と歩道部をつなぐ箇所であり、縦方向より横方向への動線が主体である。

従って、この箇所は方向性を持たない舗装パターンとする。また、緑地帯に挟まれた箇所であることから、透水性の舗装材とする。

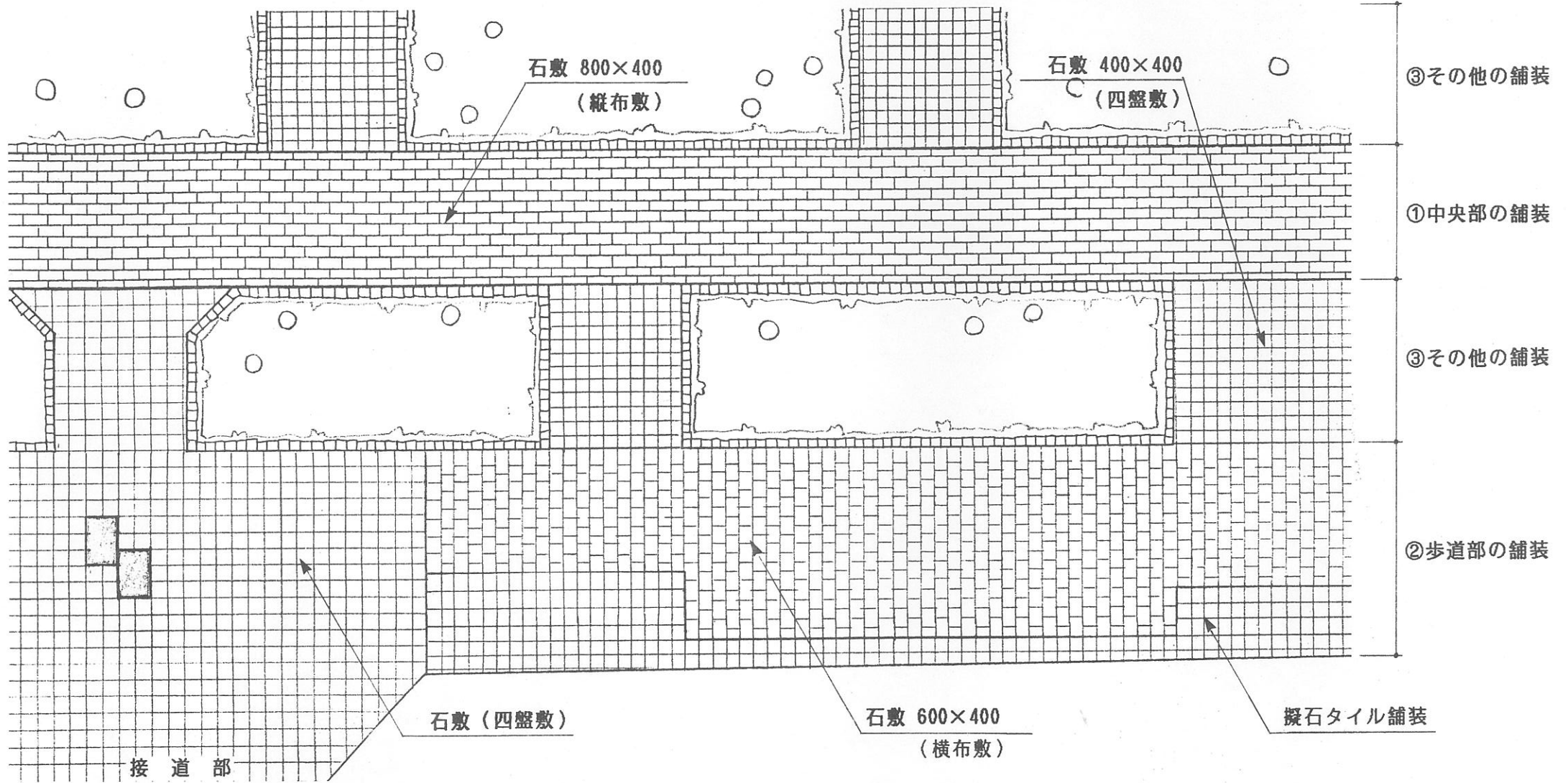
京王線以南の西側歩道部の一部には、大国魂神社例大祭の際「駒くらべ」が行われる箇所がある。この部分は、馬が全力で疾走するため、ハードな舗装ではなく、砂利敷き又は芝生等によって残す必要がある。

舗装整備部分図



舗装整備計画案

舗装パターン図 (A)

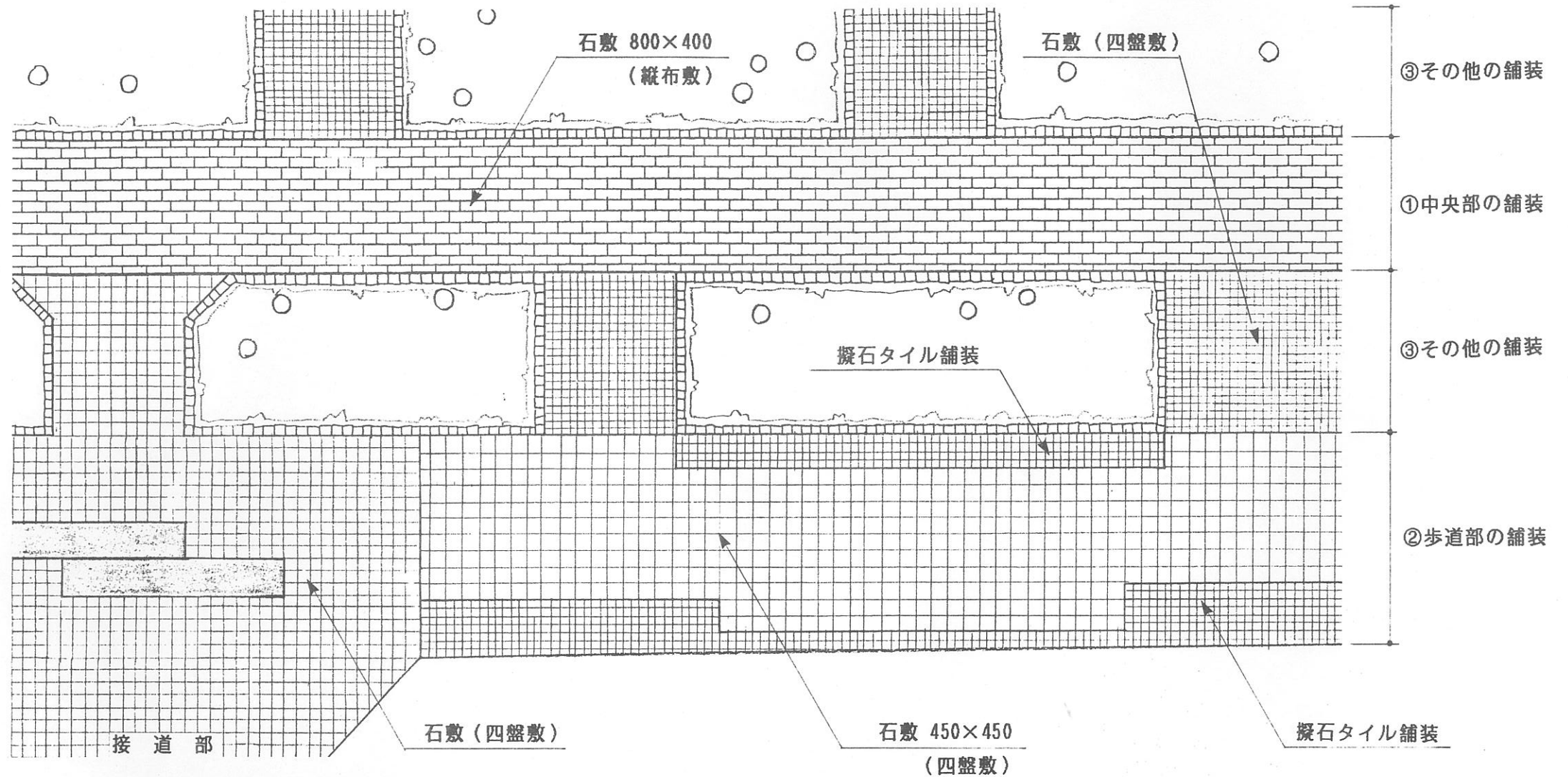


- 中央部は、大國魂神社の参道と同様の自然石の縦布石敷とし、南北の軸線を強調する。
- 両側の歩道は自然石の横布石敷とし、参道のイメージをもたせると同時に、南北の方向性が弱い舗装パターンとする。
- 接道部や緑地帯の間は方向性をもたない自然石の四盤敷とし、他の部分と異なったイメージを持たせる。

- 歩道部の民地側は、沿道の建築物の建替えや意匠に対応できるように擬石タイル舗装とし、石張舗装と建物間に緩衝部分を設ける。
- 全体としては、中央部の参道とけやき並木を中心に、両側に広がっていくイメージとする。

舗装整備計画案

舗装パターン図 (B)

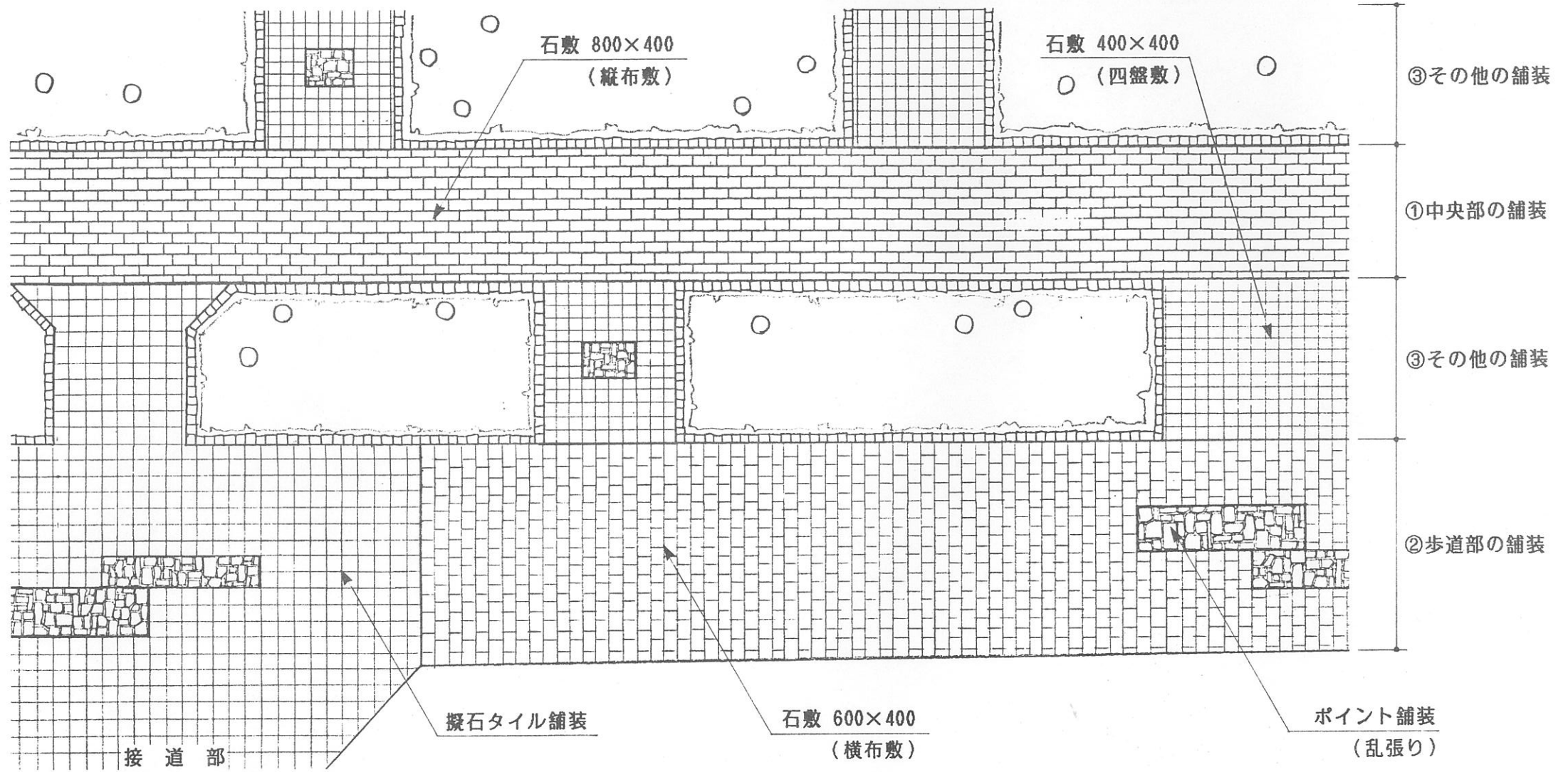


- 中央部は、大國魂神社の参道と同様の自然石の縦布石敷とし、南北の軸線を強調する。
- 両側の歩道の中央部は自然石の四盤敷とし、参道のイメージを持たせつつ、方向性を持たせないようにする。

- 歩道の緑地帯側と反対側に擬石タイル舗装を組み込み、変化を持たせる。

舗装整備計画案

舗装パターン図 (C)



- 中央部は、大國魂神社の参道と同様の自然石の縦布石敷とし、南北の軸線を強調する。
- 両側の歩道は自然石の横布石敷とし、参道のイメージをもたせると同時に、南北の方向性が弱い舗装パターンとする。

- 両側の歩道の一部に自然石の乱張り舗装の部分进行、変化を持たせる。
- 歩道部が一様の舗装となるため、沿道の建替えや壁面後退に対応しづらい。

(3) ストリートファニチャー計画

ストリートファニチャーは、「街具」「街の道具」などと訳され、フェンス等の管理施設、ベンチ等の休息施設から標識や信号機に至るまで、街路等に置かれるすべての小工作物施設の総称とも言える。

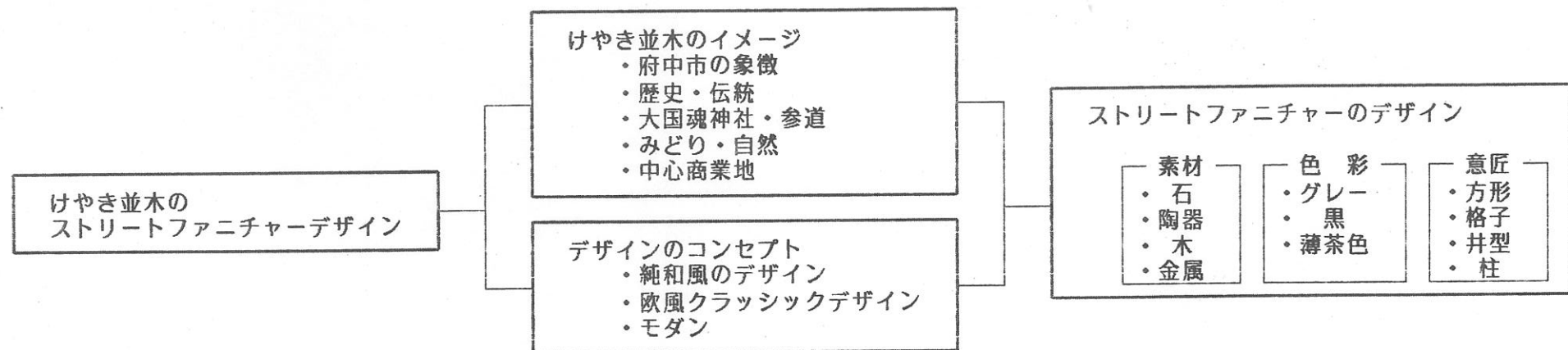
ストリートファニチャーは、共通する機能・性質から次のように分類される。

- a. 管理グループ …… フェンス、車止め等
- b. 交通グループ …… 信号機、交通標識等
- c. 情報グループ …… 掲示板、案内板等
- d. 衛生グループ …… 屑入れ、吸殻入れ等
- e. 照明グループ …… 照明灯、フットライト等
- f. 休息グループ …… ベンチ、スツール等

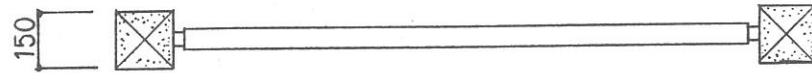
これらのストリートファニチャーの多くは、近くで見て触れることができる施設であり、利用者にとって身近な存在である。また、そのデザインの自由度が比較的高いことから、道路の個性を演出する重要な要素として用いることができる。

ストリートファニチャーのデザインを行うにあたり、次の点に配慮する必要がある。

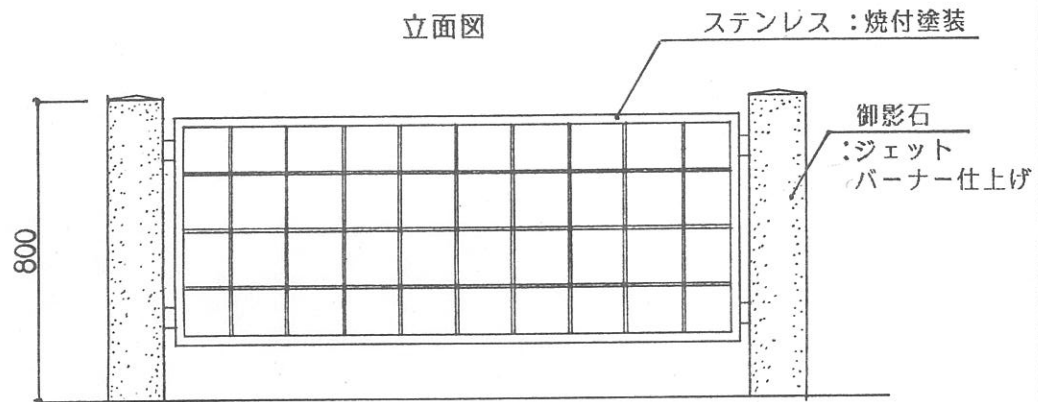
- ① シンプルなデザイン
- ② 素材の持つ質感や自然な色調を活かす
- ③ 周辺の景観となじむデザイン
- ④ 地域の個性を活かした特徴的なデザイン



平面図

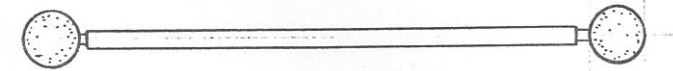


立面図

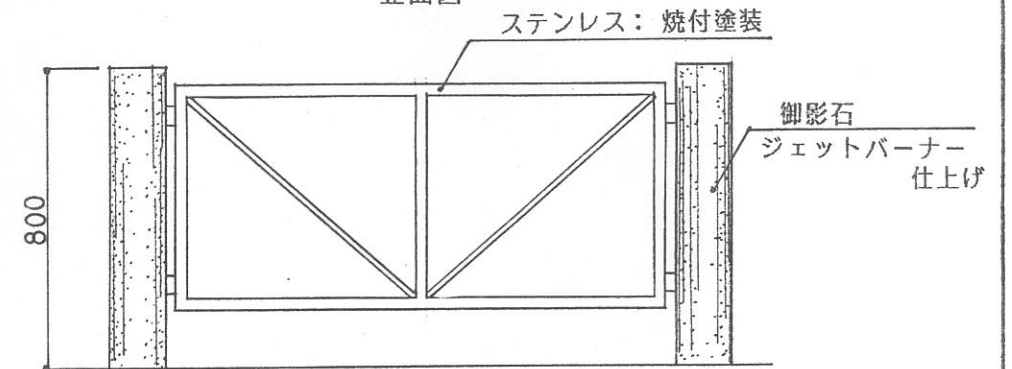


- ・材質 柱-石材：ジェットバーナー仕上げ
横ガード-ステンレス（焼付塗装）
- ・伝統的な格子の柵と、石の柱を組み合わせ、現代風にデザインする。

平面図

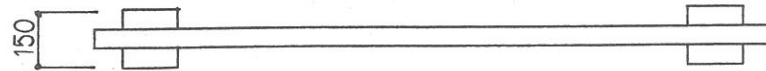


立面図

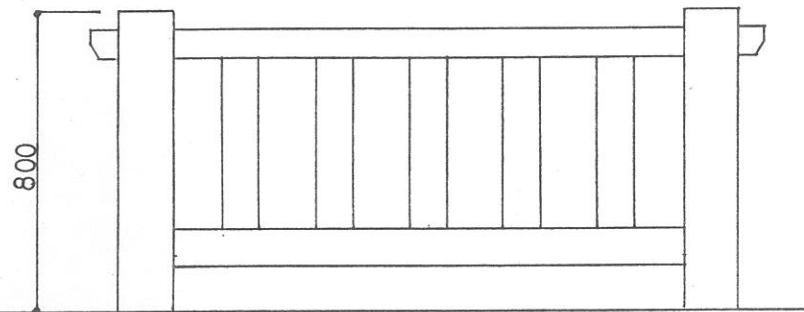


- ・材質 柱-石材：ジェットバーナー仕上げ
横ガード-ステンレス（焼付塗装）
- ・石の円柱形の柱と、シンプルな横ガードを組み合わせたデザインとする。

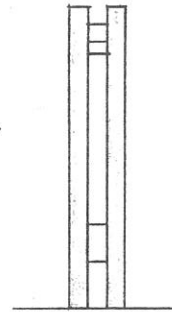
平面図



立面図



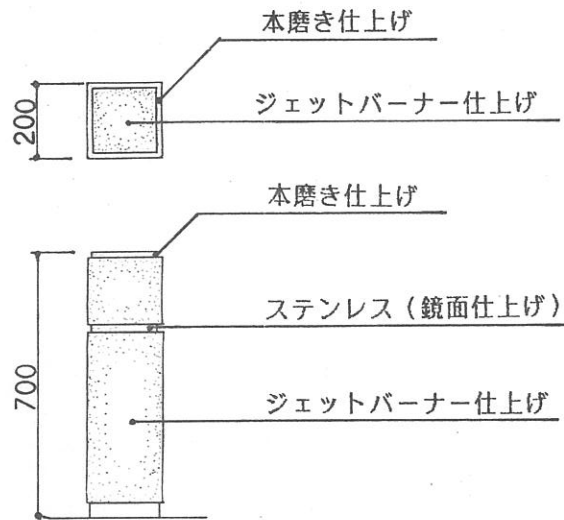
側面図



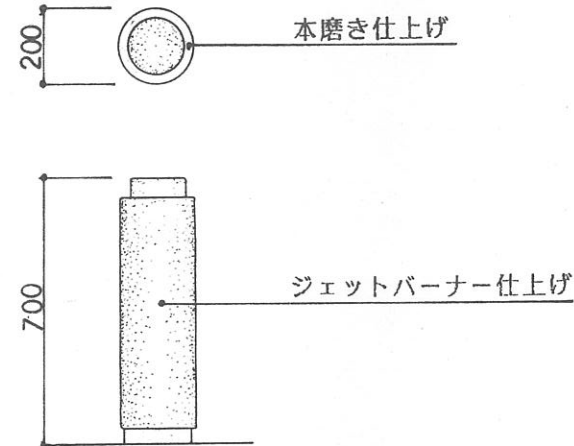
- ・材質－ステンレス（焼付塗装）
- ・伝統的な木製の柵をモチーフとし、現代風にアレンジ、デザインする。

ストリートファニチャー計画案

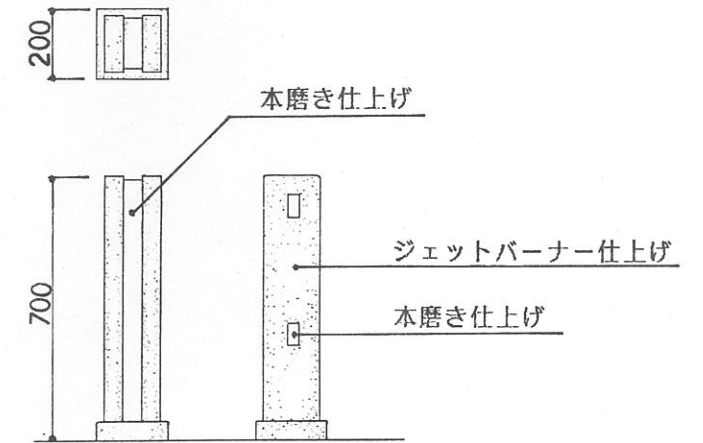
車止め



- ・材質 本体-石材：ジェットバーナー仕上げ
一部本磨き仕上げ
ポーター部：ステンレス（鏡面仕上げ）
- ・方形をデザインのモチーフとし、石材の中にステンレスをはめ込み、現代風にデザインする。



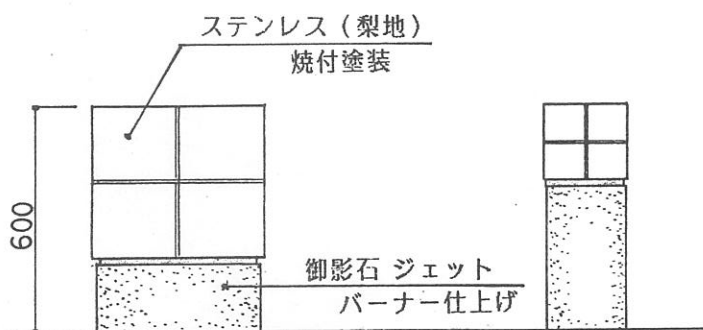
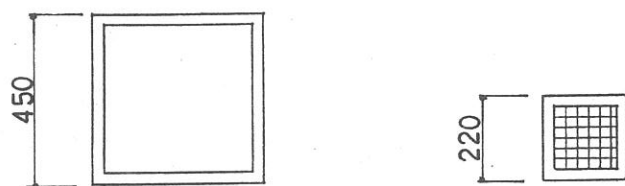
- ・材質 本体-石材：ジェットバーナー仕上げ
一部本磨き仕上げ
- ・円柱形をベースに、天端にアクセントを設ける。



- ・材質 本体-石材：ジェットバーナー仕上げ
本磨き仕上げ
- ・伝統的な木製の柵の組み合わせを、石材の仕上げの変化によりアレンジする。

ストリートファニチャー計画案

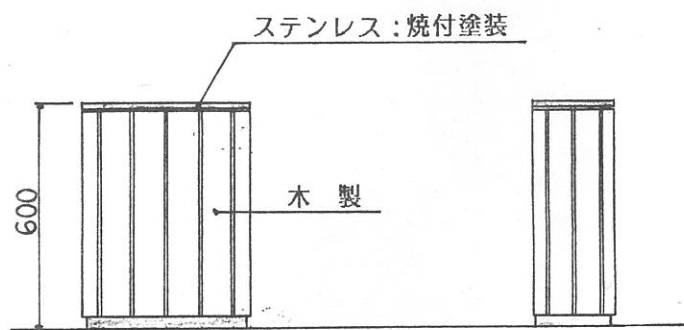
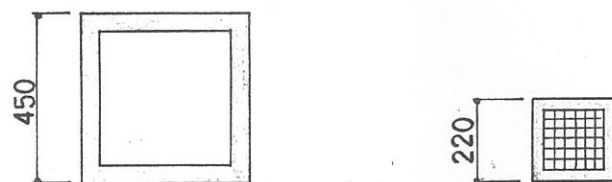
層入れ・吸殻入れ



- ・材質…上部：ステンレス（焼付塗装）
下部：石材（ジェットパーナー仕上げ）

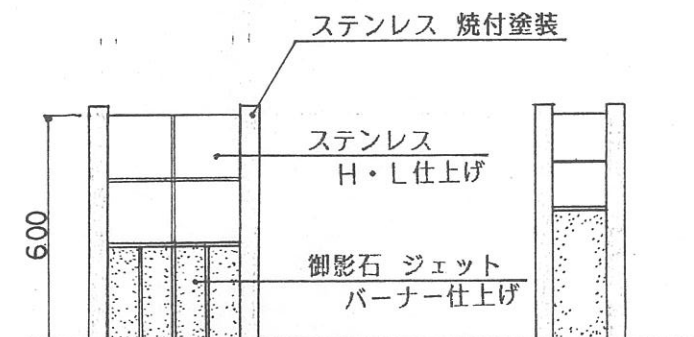
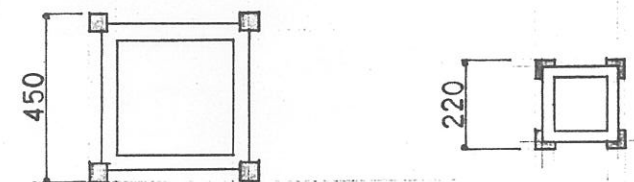
・自然の素材である石と、現代の素材であるステンレスを組み合わせ、現代風で軽いデザインにする。

・ステンレス部には、格子模様をアレンジする。



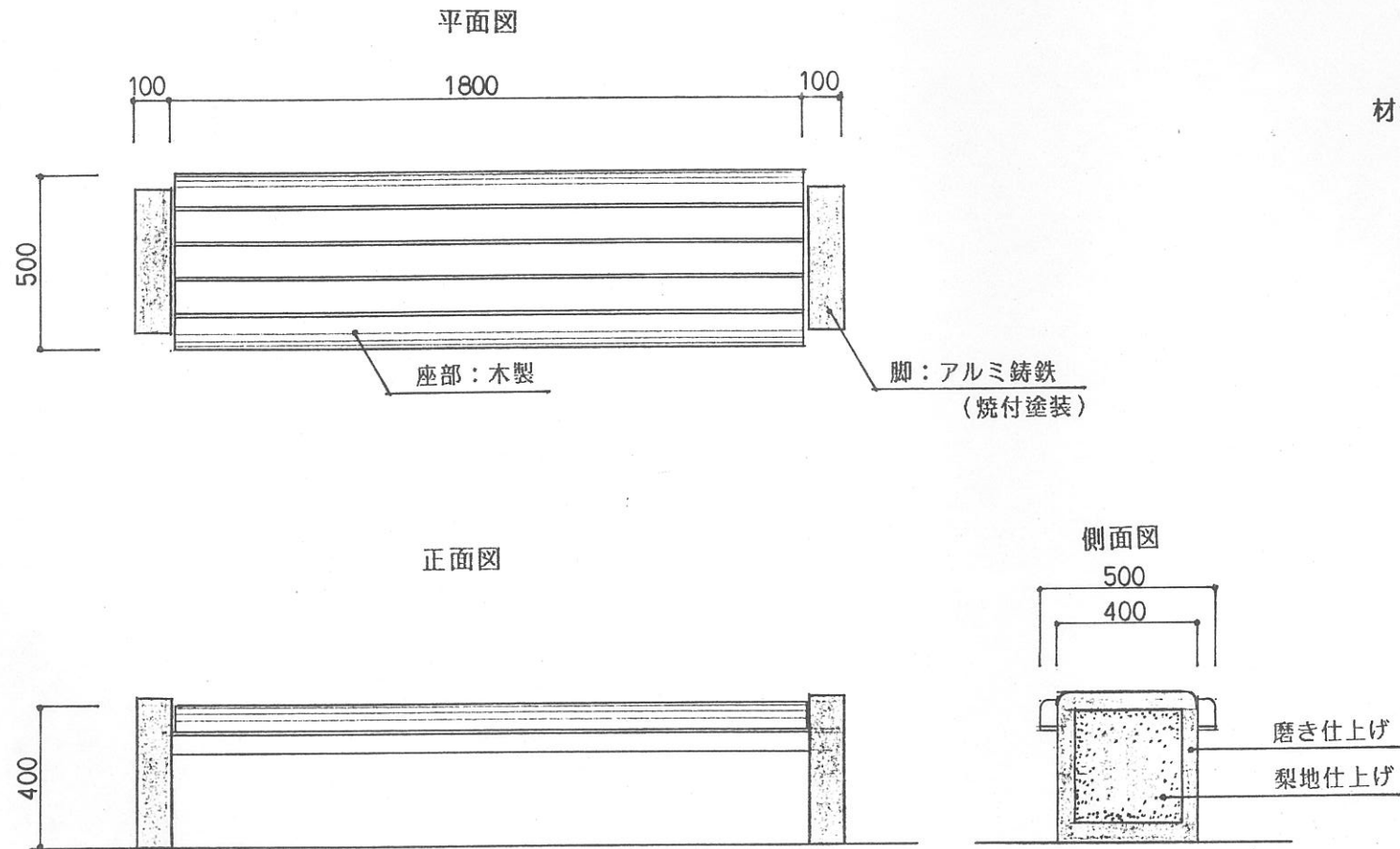
- ・材質…本体：ステンレス製
外周：木製

・外側に木製の板を張り、自然の素材である木の持つ暖かさを表現する。

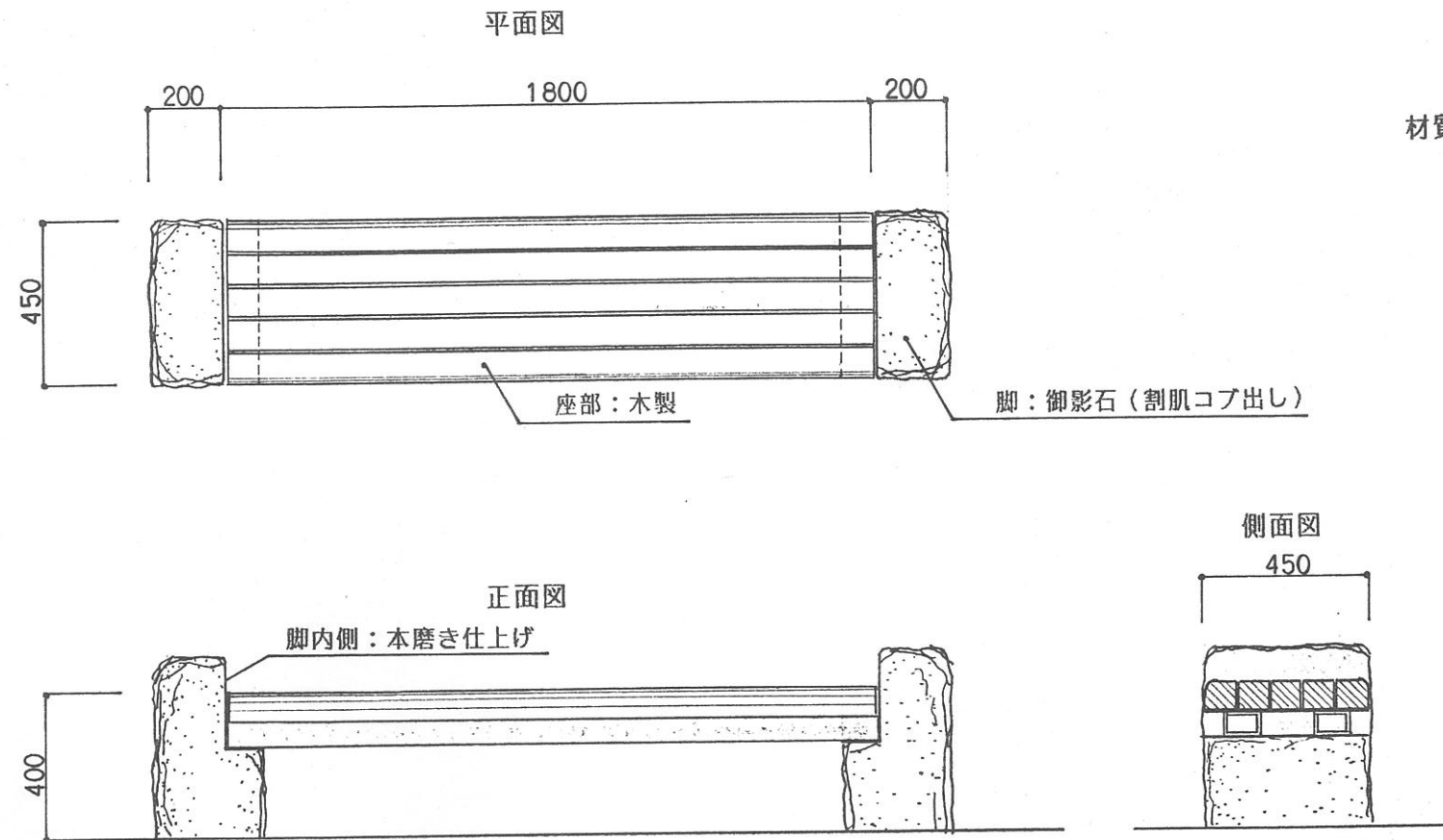


- ・材質…枠組：ステンレス（焼付塗装）
上部：ステンレス（H・L仕上げ）
下部：石材（ジェットパーナー仕上げ）

・ステンレスの枠組みの中に、ステンレスと石材を組み込み、和風なイメージのデザインとする。



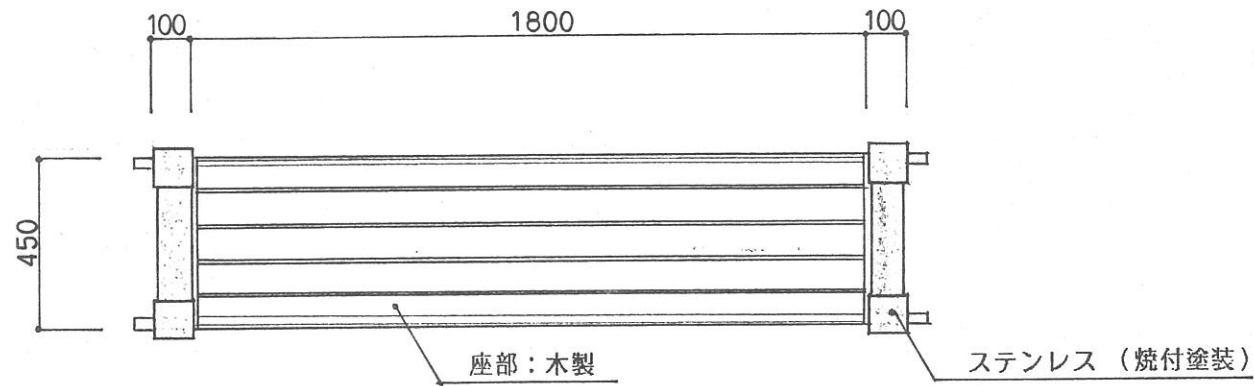
- ・耐久性を考慮して脚部はアルミ鋳鉄とし、側面の仕上げに変化を持たせる。
- ・座部は座り易く、柔らかい感触を持つ木材を使用する。



材質…脚部：石材（割肌コブだし仕上げ
一部本磨き仕上げ）
座部：木製

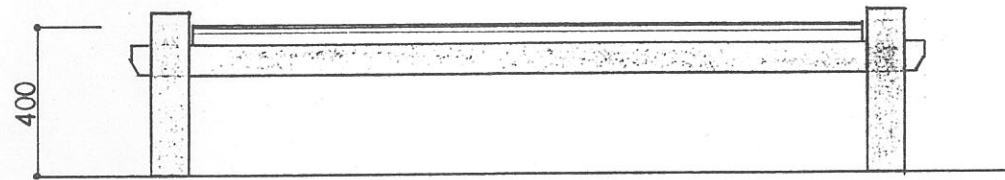
- ・設置場所が緑地帯に近い場合が多いことを考慮し、脚部を割肌コブだし仕上げとし、縁石と調和するデザインとする。
- ・ただし、座部は柔らかい感触を持った木材を使用する。

平面図

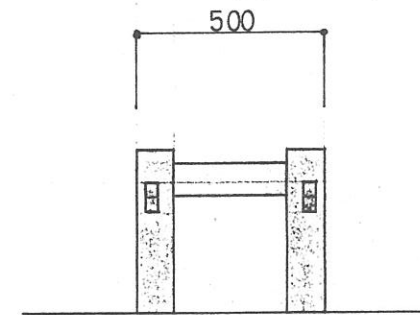


材質…脚部：ステンレス（焼付塗装）
座部：木製

正面図



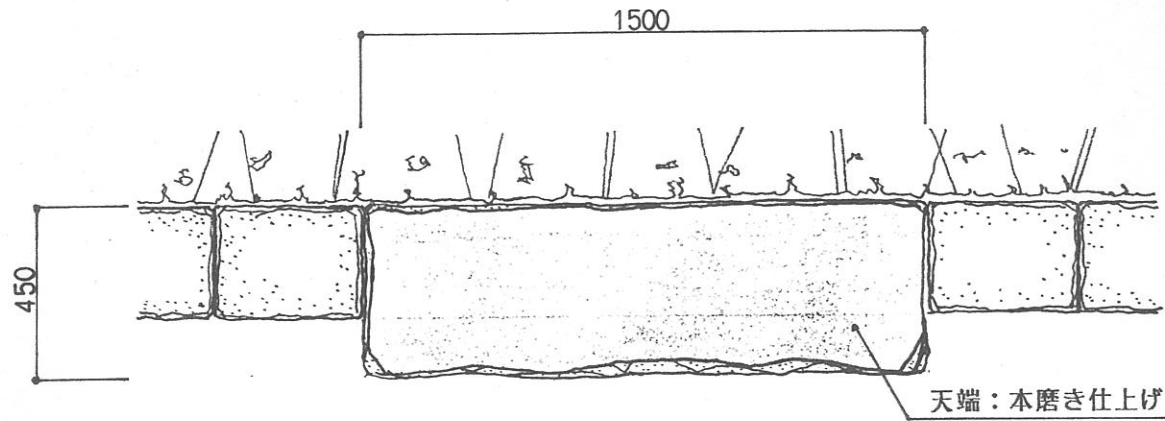
側面図



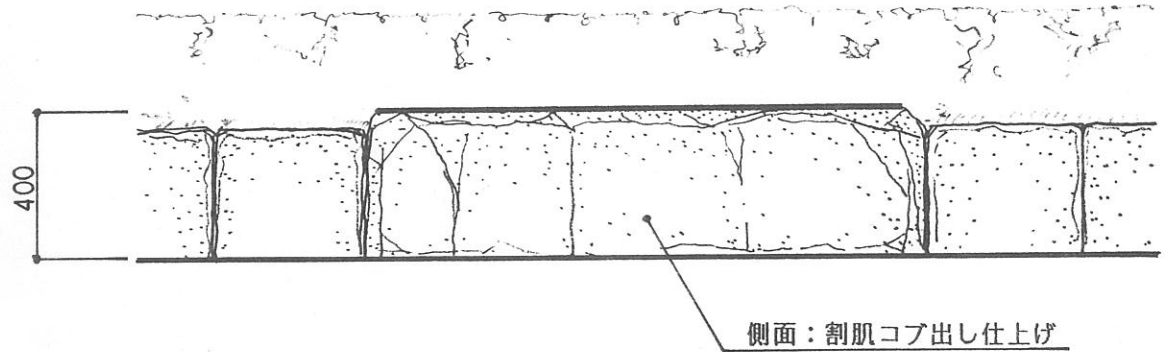
- 日本の住宅の軒先などで見かけた木製の縁台をモチーフとし、耐久性等を考慮し、ステンレス製の脚とする。
- 座部は柔らかい感触を持った木材を使用する。

自然石ベンチ

平面図

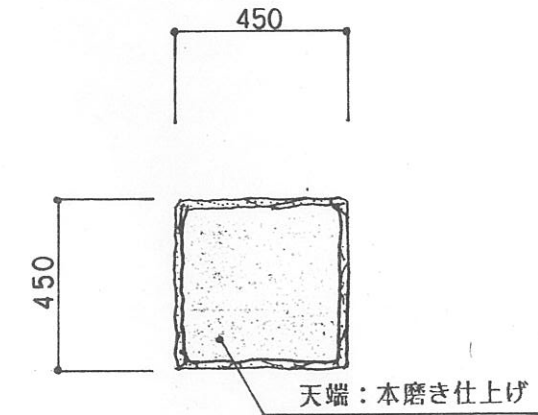


立面図

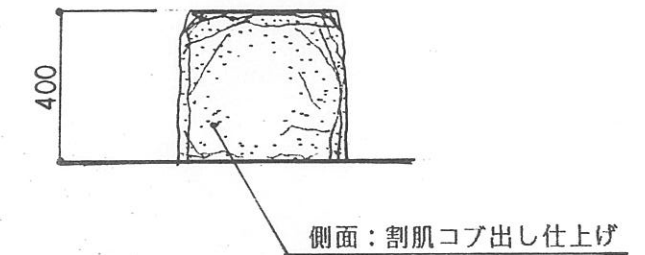


自然石スツール

平面図

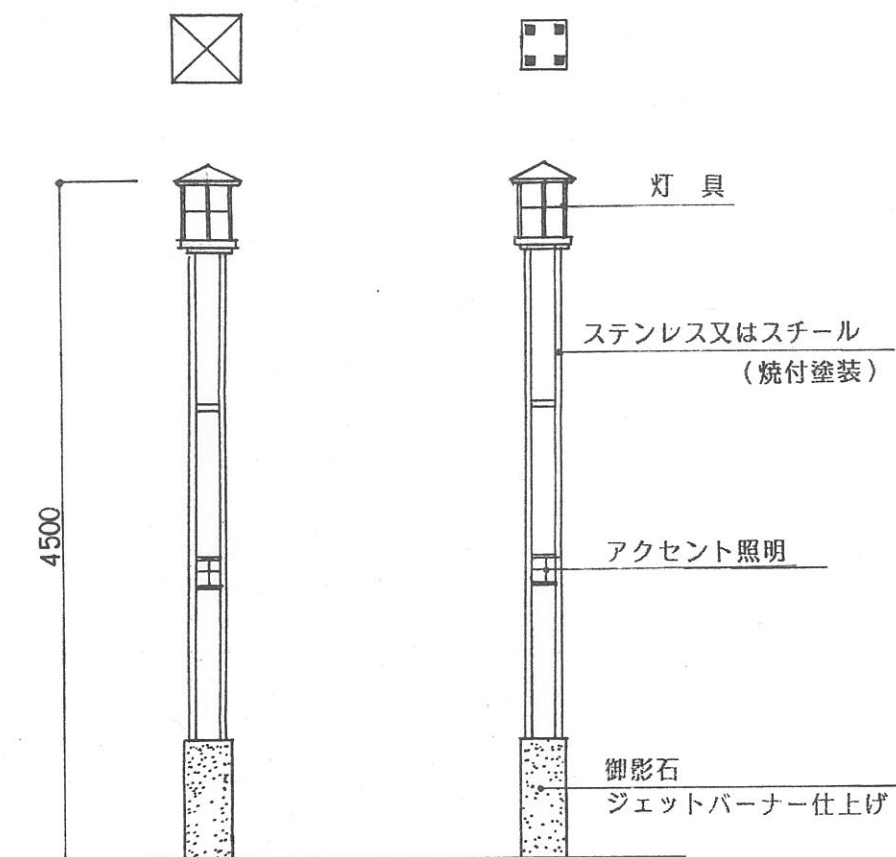


立面図



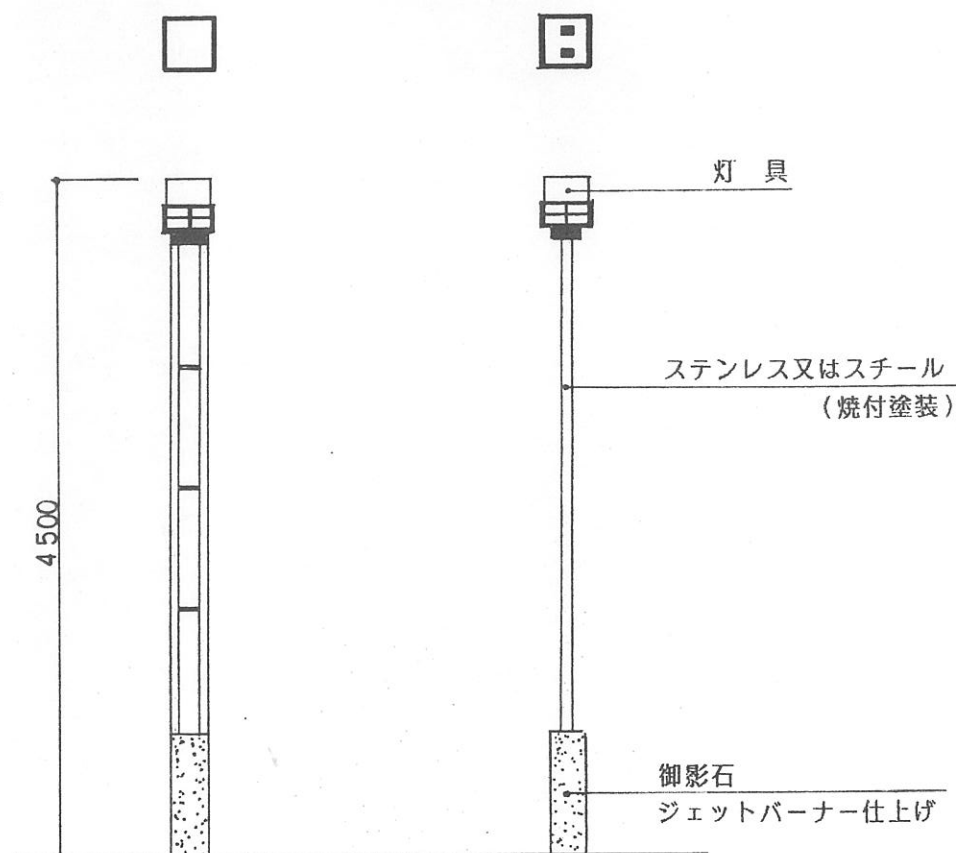
- 緑地帯の御影石製の縁石の一部に、自然石ベンチを組み入れて変化を持たせる。
- 自然石スツールは、縁石と共に使用するほかに、車止めとして用いることも可能である。

材質… 本体：ステンレス又は
スチール
(焼付塗装)
基礎部：御影石



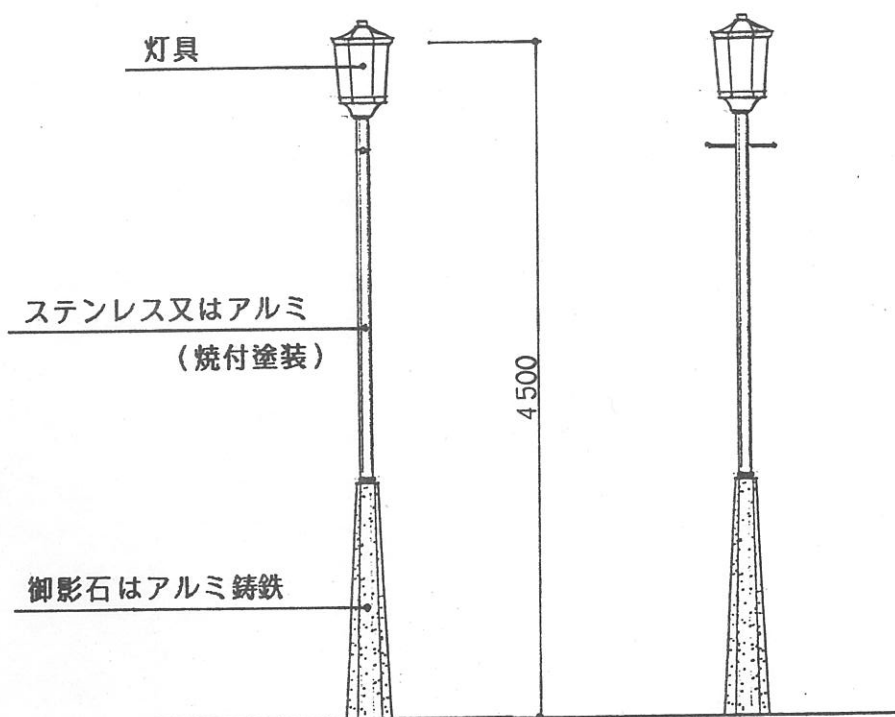
- 日本古来の灯具である行燈を、現代風にアレンジしたデザインとする。
- 基礎部を御影石にし、中央に小さなアクセントとしての照明を入れる。

材質… 本体：ステンレス又は
スチール
(焼付塗装)
基礎部：御影石

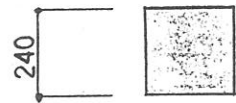


- 2本の柱により、軽い印象を持つデザインとする。

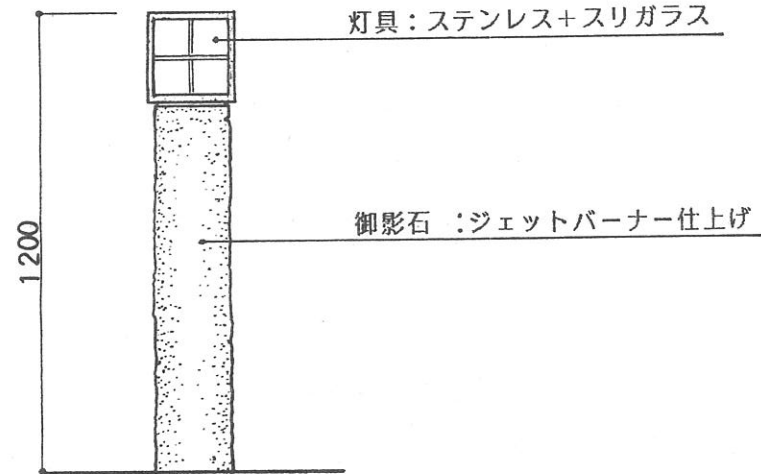
材質… 本体：ステンレス又はアルミ
 基礎：御影石又はアルミ鋳鉄



- ・ガス燈をアレンジしたクラシックなデザインとする。
- ・基礎部を御影石にし、風格を持たせる。



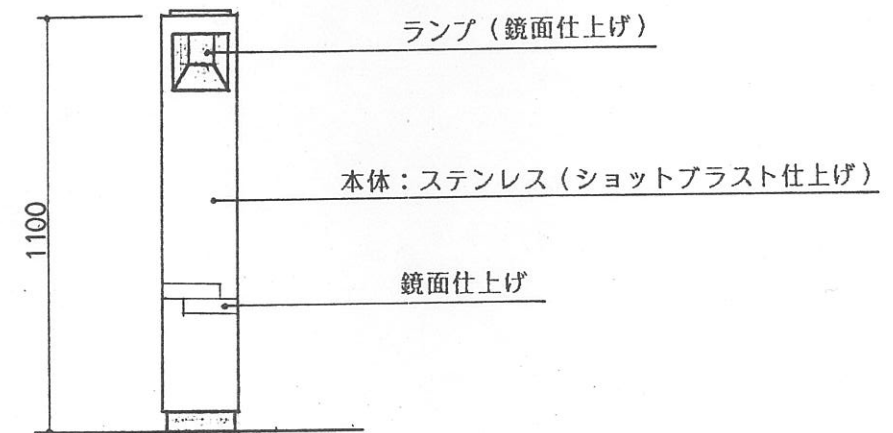
材質…灯具：ステンレス枠
スリガラス
柱：御影石（ジェット
バーナー仕上げ）



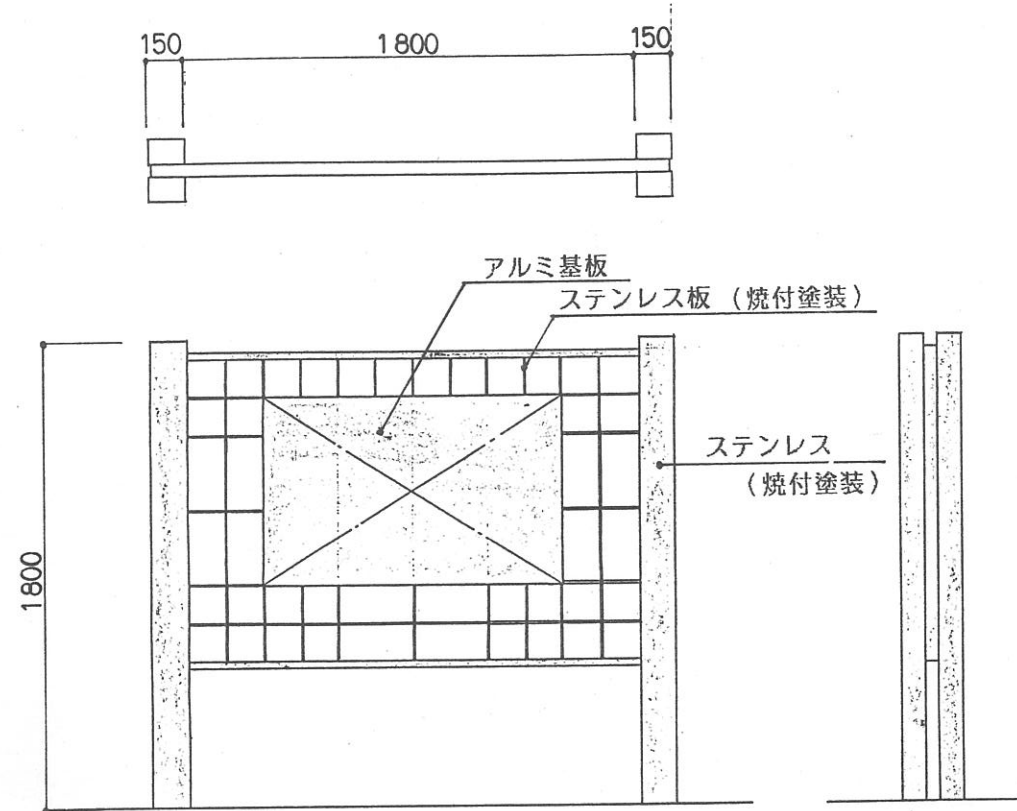
- ・照明灯の補助、ポイントの演出の目的で設置する。
- ・他のファニチャーとデザインを合わせ、ステンレスの灯具と御影石の柱を組み合わせる。



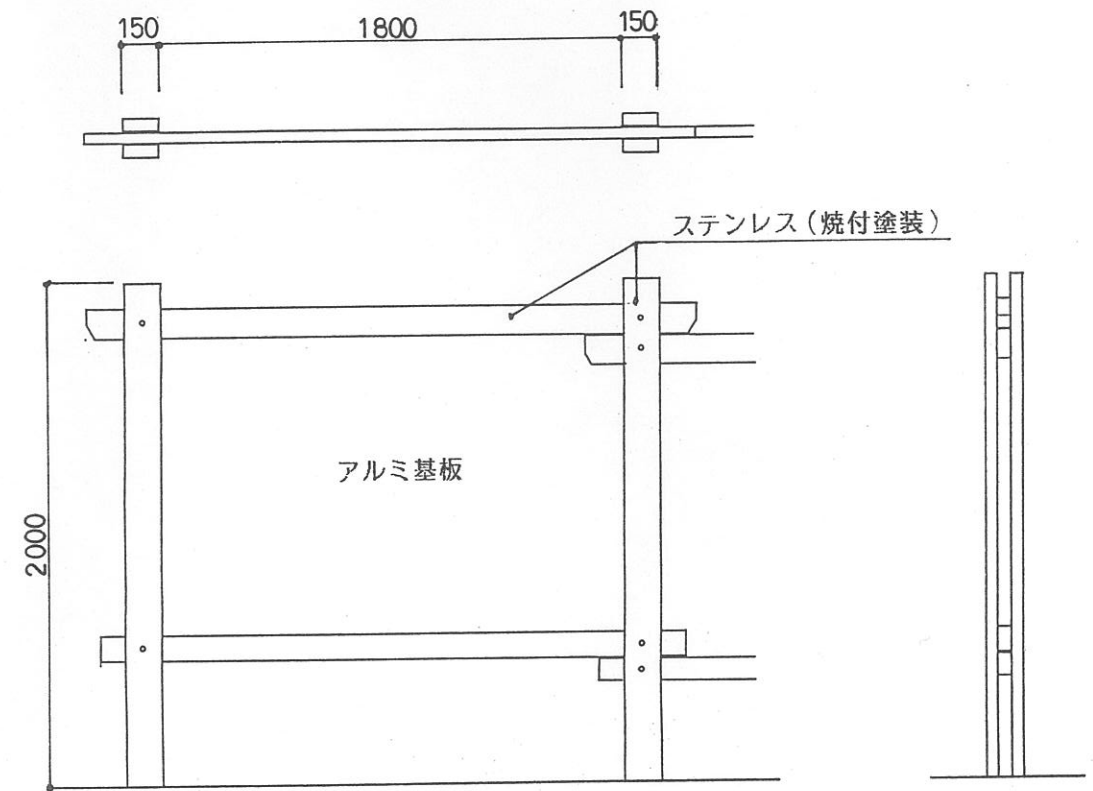
材質：ステンレス
（焼付塗装）



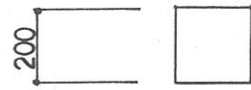
- ・照明灯の補助、ポイントの演出の目的で設置する。
- ・本体をステンレスのショットブラスト仕上げとし、ポイントに鏡面仕上げ部を入れる。



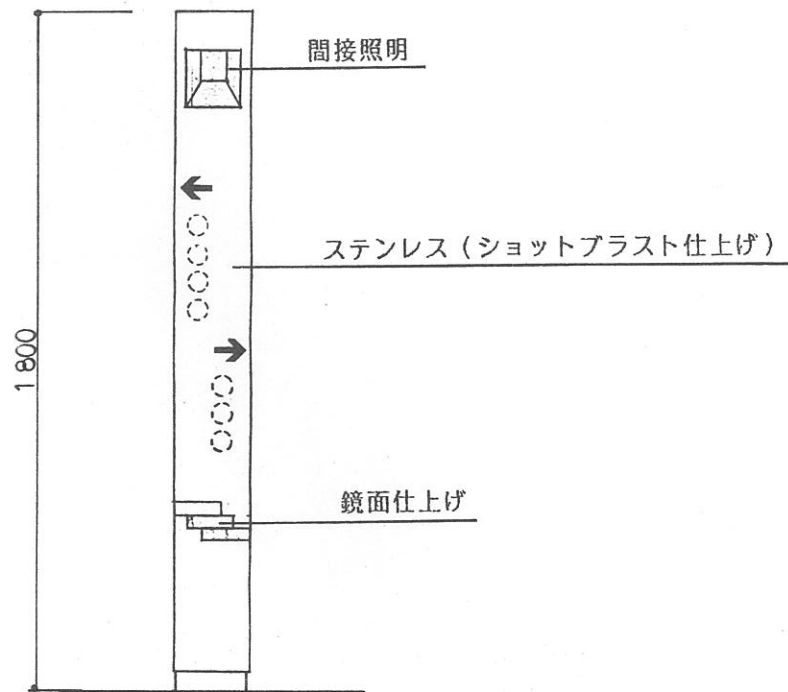
- ・材質…柱，枠：ステンレス（焼付塗装）
表示板：アルミ板，陶板
- ・格子の枠組の中に、案内板を組み込んでデザインする。
- ・表示内容により、形状を変えバリエーションを持たせる。



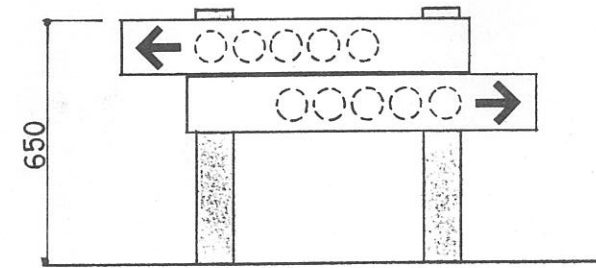
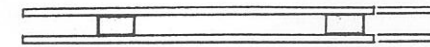
- ・材質…柱，枠：ステンレス又は木製
表示板：アルミ板
- ・古くから見られる木製の掲示板をモチーフとしてデザインする。
- ・比較的大型となり易く、設置数は押さえる必要がある。



材質…ステンレス
(焼付塗装)

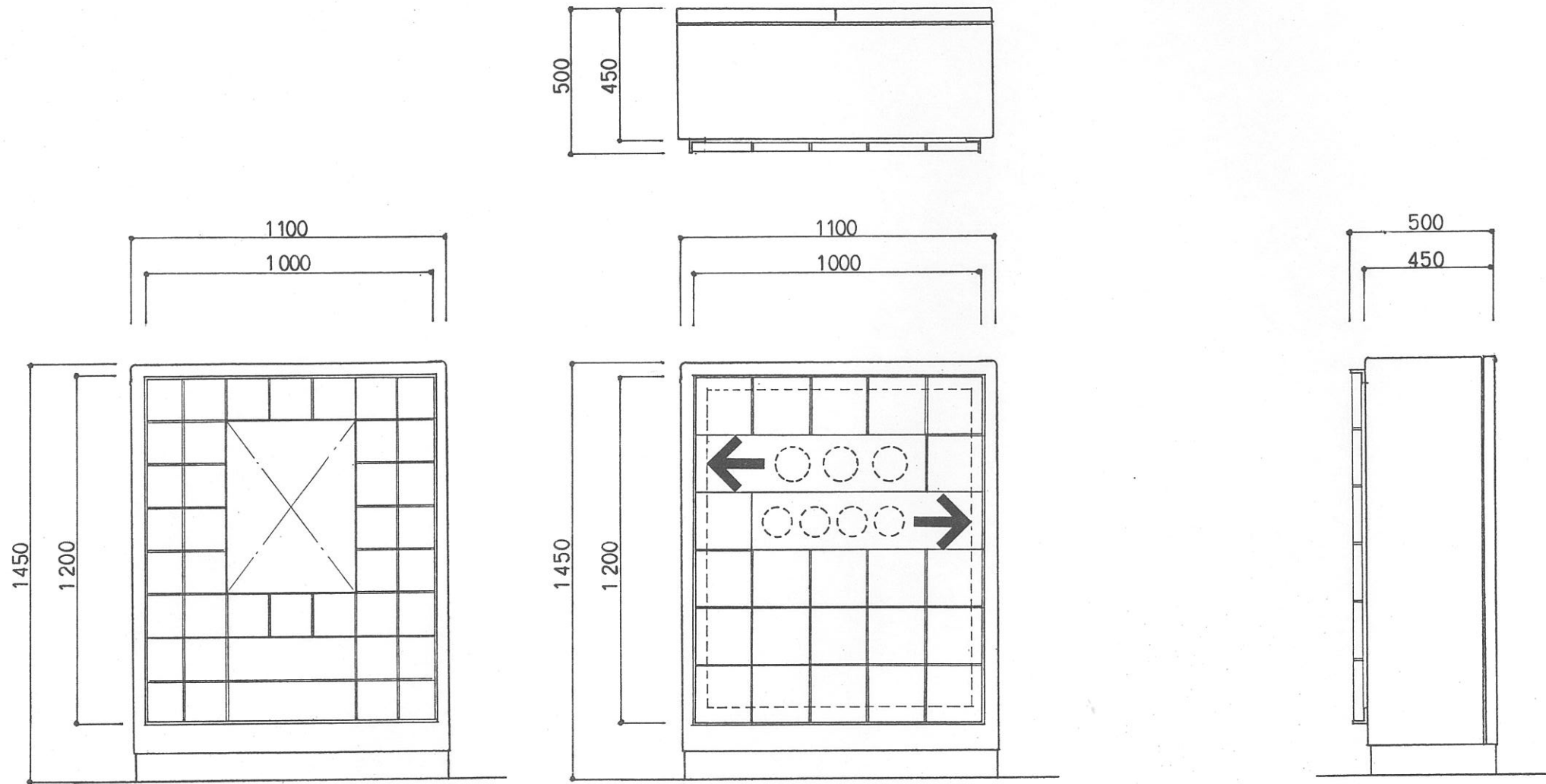


- ・公共施設や、史跡等の誘導サインは、目立たないシンプルな柱状のデザインとする。
- ・夜間でも目立つように、上部に照明を入れる。



材質…ステンレス
(焼付塗装)

- ・緑地帯を通しての横断方向の視界をさえぎらないように、低い誘導サインを検討する。



- 背面にステンレス製の格子枠を設け、その中に案内板や、誘導板を設置する。
- 地上機器は、他のファニチャー等と同じ塗装色とする。

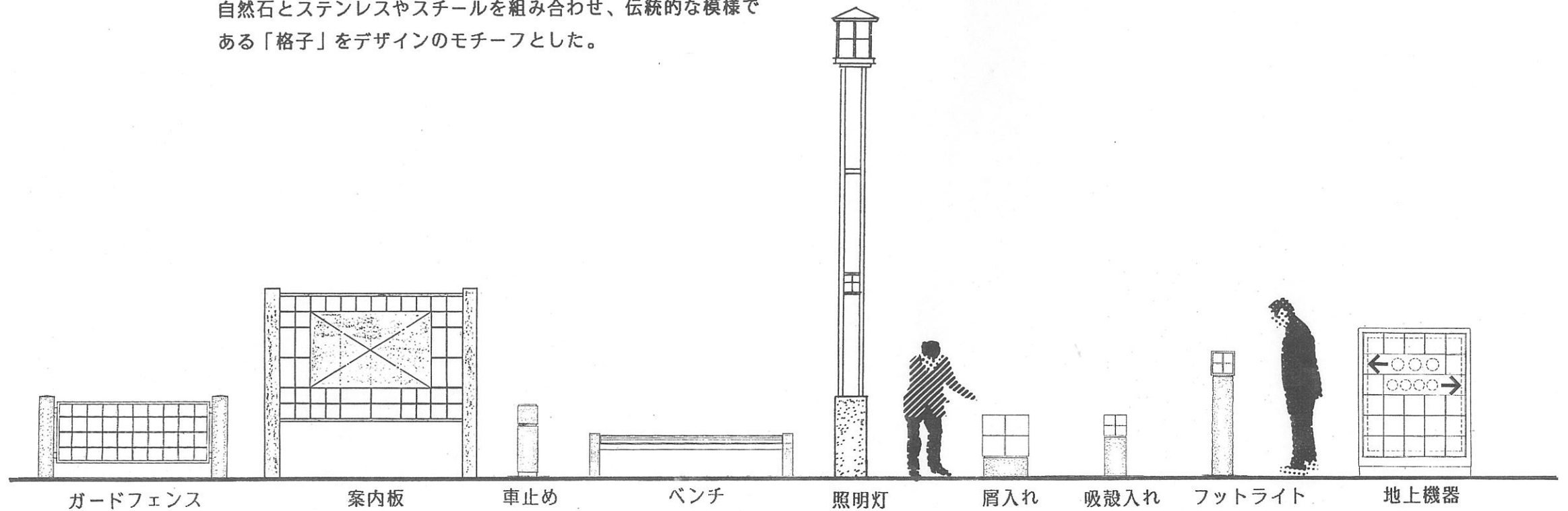
<デザイン思想の統一>

道路内に設置されているストリートファニチャーは、多種多様であり、それぞれ異なった明確な機能を持っている。これらのファニチャーを個々にデザインした場合、個性化が図られる反面、雑多なデザインが生まれ、まとまりのない雑然とした景観となってしまう。

従って、デザイン思想の統一を図り、全体がまとまりのある景観となるよう配慮する。

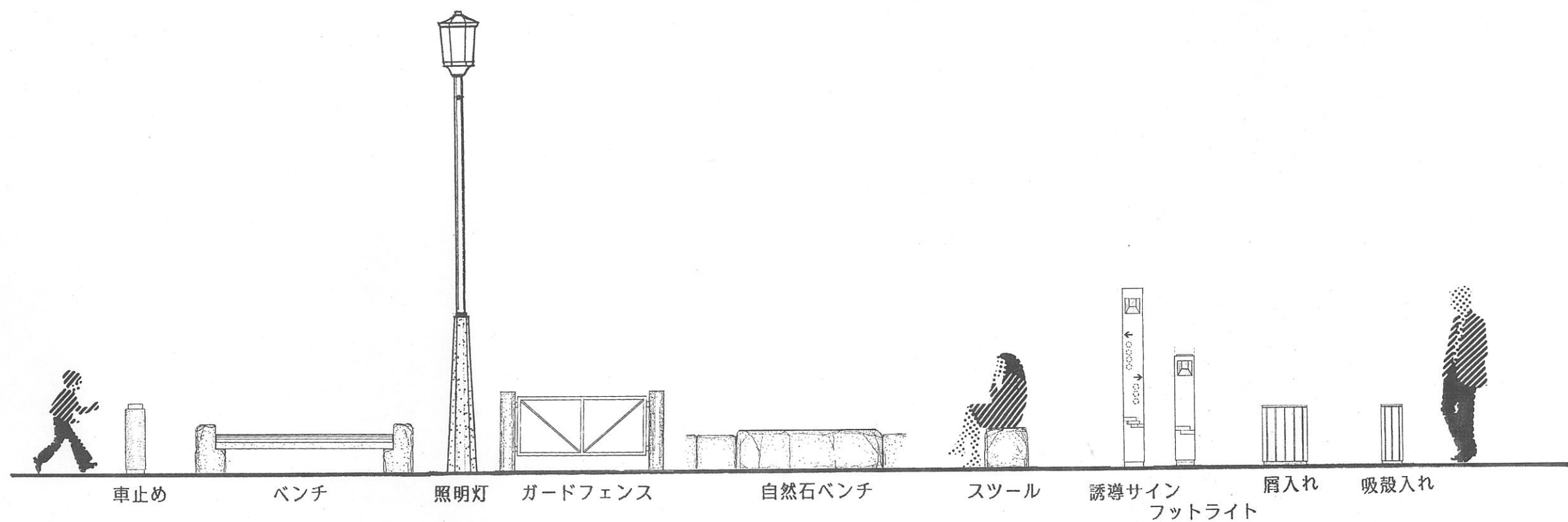
◇デザイングループA

自然石とステンレスやスチールを組み合わせ、伝統的な模様である「格子」をデザインのモチーフとした。



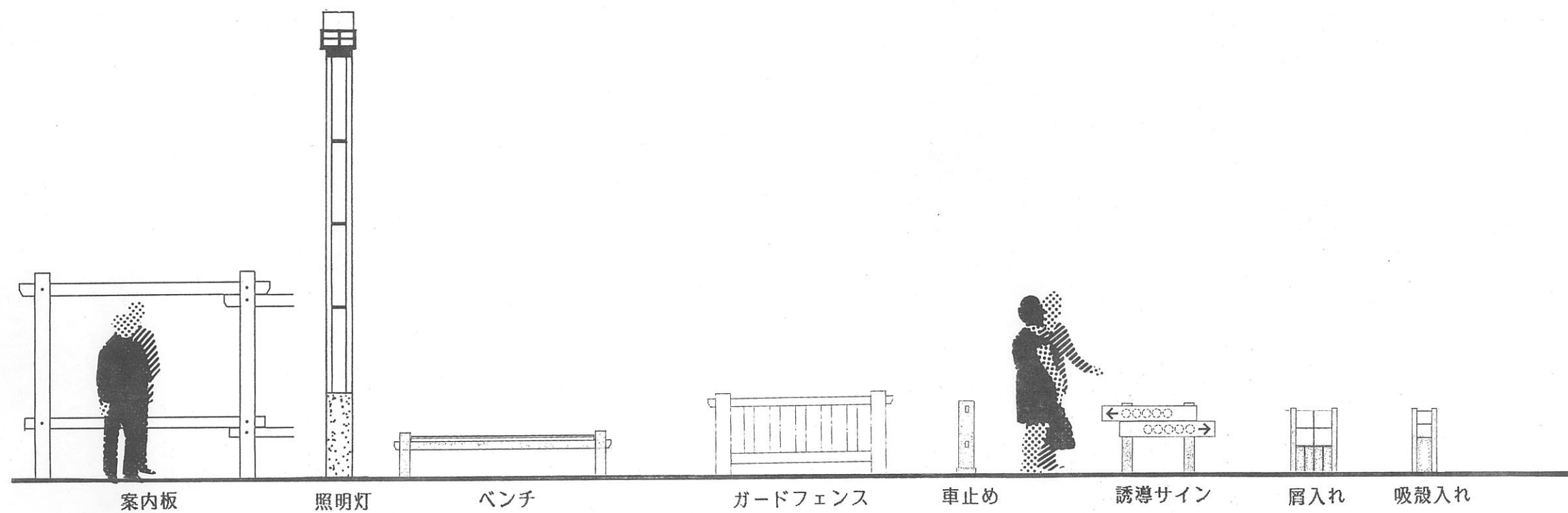
◇デザイングループB

自然石や木材等「自然の素材」によって、重みのある落ち着いたデザインとする。



◇デザイングループC

伝統的な工芸品等にみられる「井型」をデザインのモチーフとした。



(4) 植栽計画

けやき並木通りの植栽計画は、ケヤキの保全の計画と、けやき並木と一体となって景観を構成する低木・地被類を主体とするけやき並木下部の根締め植栽に分けられる。

1. ケヤキの保全計画

①けやき並木の保護……現存するケヤキに対して保護対策を講じ、現在の姿を将来に残していく。

・外科手術の施工

老大樹の木材腐朽菌被害の治療として、腐朽部を除去、傷口への殺菌癒合剤の湿布、空洞部への重填等の処置を行う。
また、壮齢期のケヤキであっても、傷害から始まる木材腐朽性疾病に対しても外科手術は有効である。

・切り口の処理

枯枝の除去や枝を切り落とした場合、腐朽菌対策をほどこし、傷口からの雨水の侵入を防止する。

・枝打ちの実施

積極的な枝打ちを行い、倒木や落枝等の危険防止と、日照、空間を確保する。

・客土、施肥

客土、バーク堆肥等の施肥により、土壌の地力や保水性、最大容水量等の増大を図る。

・進入防止

人の踏み固め防止のために、地被類の植栽や、緑地帯のかさ上げ等の対策を講じる。

②ケヤキの新植……けやき並木のケヤキが円滑に更新するよう、将来を予想したケヤキの新植を行う。

③ケヤキ以外の樹種の整理……けやき並木の景観を保全するために、ケヤキ以外の樹木の伐採を検討する。特に、シュロ等のけやき並木に調和しない樹木は、早期に撤去する。

2. 下部植栽計画

けやき並木の景観を構成する要素の中で、舗装に次いで広い面積の占める部分であり、植栽によって受ける印象は大きく変化する。

計画にあたっては、けやき並木との調和が最優先であるが、そのほかに以下の点に注意する必要がある。

- a. けやき並木との調和と、沿道の景観との調和
- b. 植栽条件との整合
- c. 横断方向の視界の確保
- d. 緑地帯内への進入防止

① けやき並木における植栽条件

- a. 地域的条件…歴史性、地域性等
- b. 環境条件…耐陰、耐乾、耐大気汚染等
- c. 敷地条件…けやき並木通り、道路植栽
- d. 制約条件…樹高、沿道の商業活動、ケヤキへの影響等
- e. 管理条件…病虫害、剪定、施肥等

樹種の選定、配植等においては、上記の条件を十分に検討する必要がある。

② ケヤキの^{*}性状

緑地帯はケヤキが主木であり、低木・地被類の植栽計画において、ケヤキの性状を考慮することが必要である。

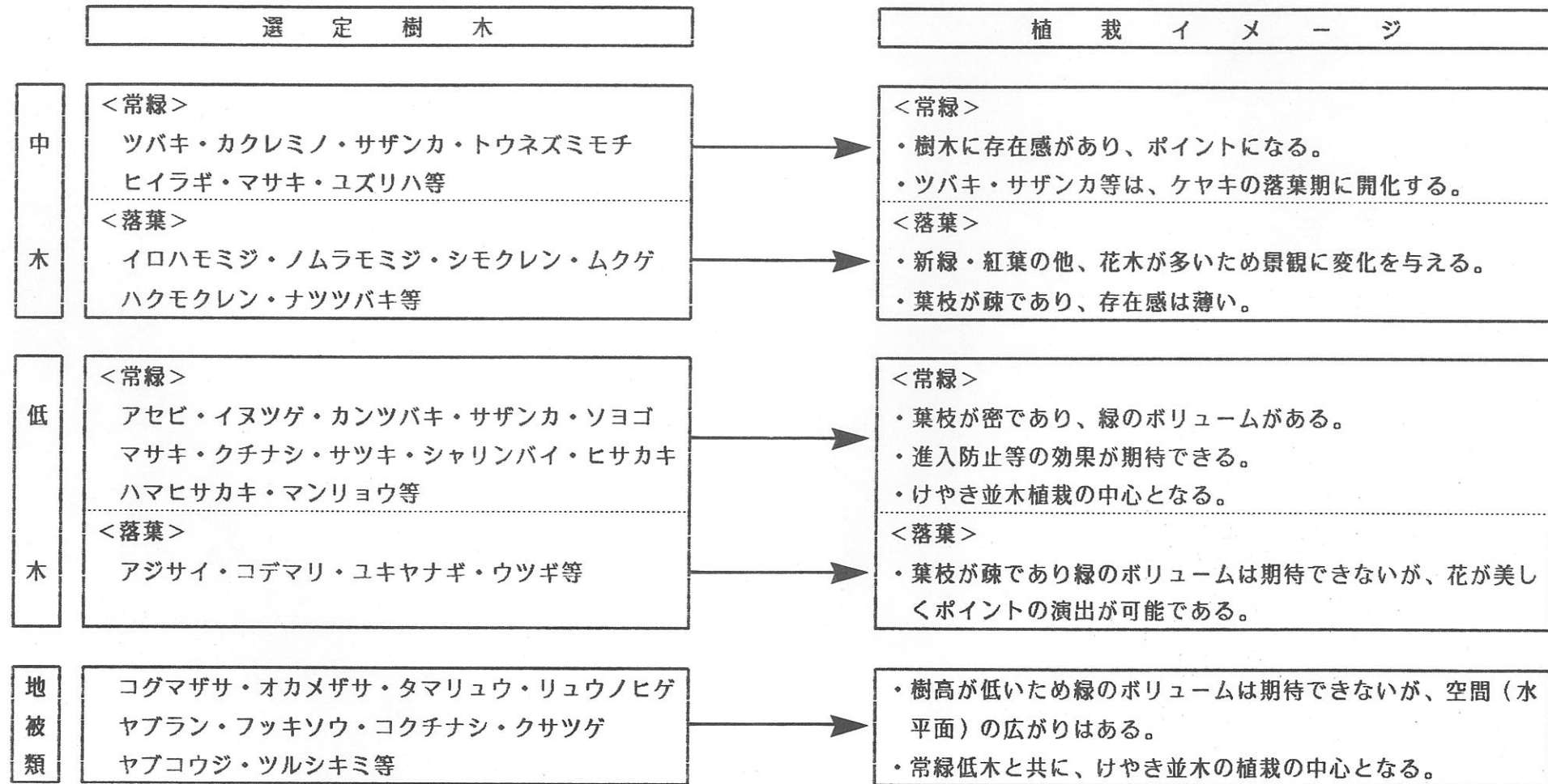
- a. 産地…本州、四国、九州の山地に自生し、人家の周辺に植えられる。武蔵野林の代表種。
- b. 適地…肥沃^{ひよ}、向陽の深層^{ふか}壤土質を好む。
- c. 性質…生長が早い。萌芽力があり剪定に耐える。
樹性強健^{たくま}、直根性^{ちくこんせい}で耐風力が強い。

*・性状…樹木の性質や特性、生育環境等。

- ・壤土…土の粒径の大きさにより区分したもので粘土が15%以下の植栽に適した土壌。
- ・直根性…幹より垂直におりている根が発達しているため樹木を支える働きが強い性質。

③けやき並木の植栽樹木の選定

けやき並木における植栽条件、ケヤキの性状、選定植物の性状等を考慮し、中・低木及び地被植物の選定を行う。



④配植基本パターンの検討

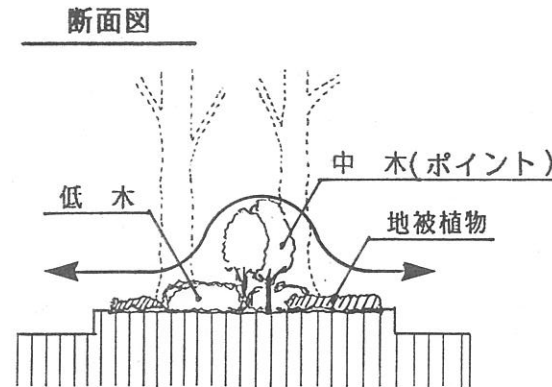
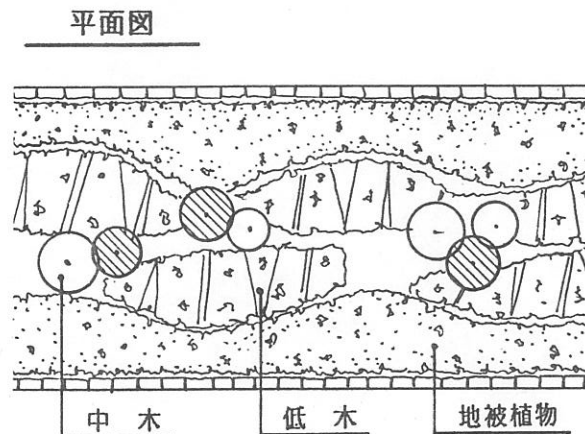
けやき並木の根締部の植栽は、植栽の配置、形状あるいは樹種の配分により、その緑地帯の空間イメージを様々に演出することが可能である。

a. 自然的配植パターン

最も自然の植生に近い形であり、高木のケヤキと中・低木、地被植物により構成する。歩道の近くには地被植物を配植し、中央に向かって低木・中木を配植することによって、厚みのある植栽となる。

ただし、両側の視界をさえぎり圧迫感を感じさせないように、中木の植栽密度は低くする必要がある。

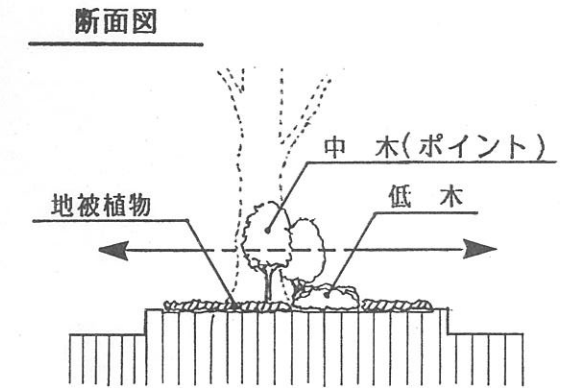
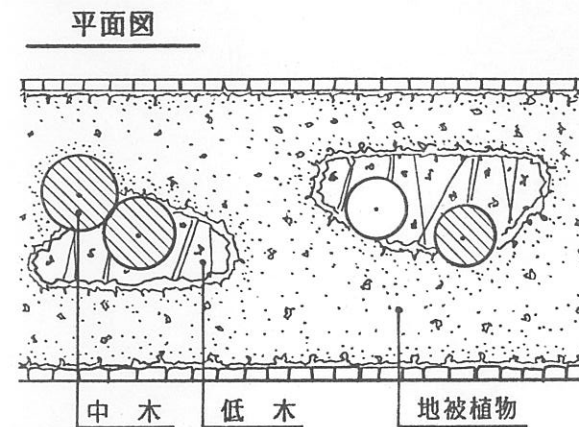
広幅員の緑地帯やベンチの周辺等、修景のポイントとなる箇所に適用し、落ち着いた空間を演出する。



b. 散開林的配植パターン

自然的配植パターンよりも中木・低木の植栽密度をより少なくし、緑地帯の両側からの視界を良好にする。

地被植物を主体とし、中央に向かって低木を植栽し、中木は修景上必要な最小限にとどめる。

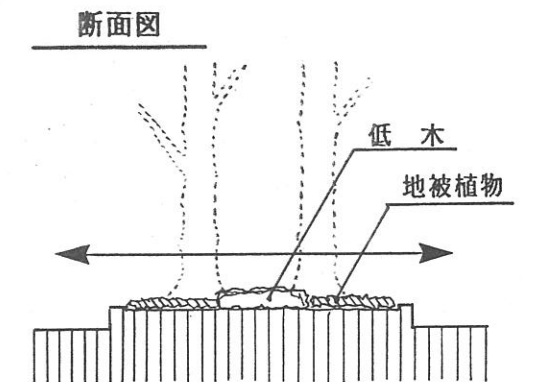
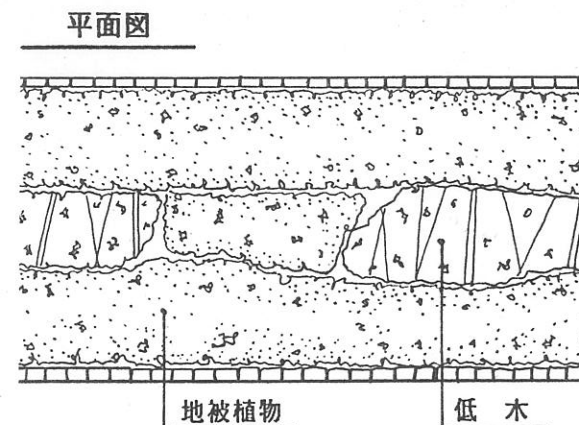


c. 開放林的配植パターン

高木のケヤキ以外は、地被植物と低木によってけやき並木の根元をすっきりとした植栽とする。

比較的狭い緑地帯や歩道が狭い箇所に適用し、明るく開放的な空間を演出する。

けやき並木においてはこの植栽パターンが中心となる。

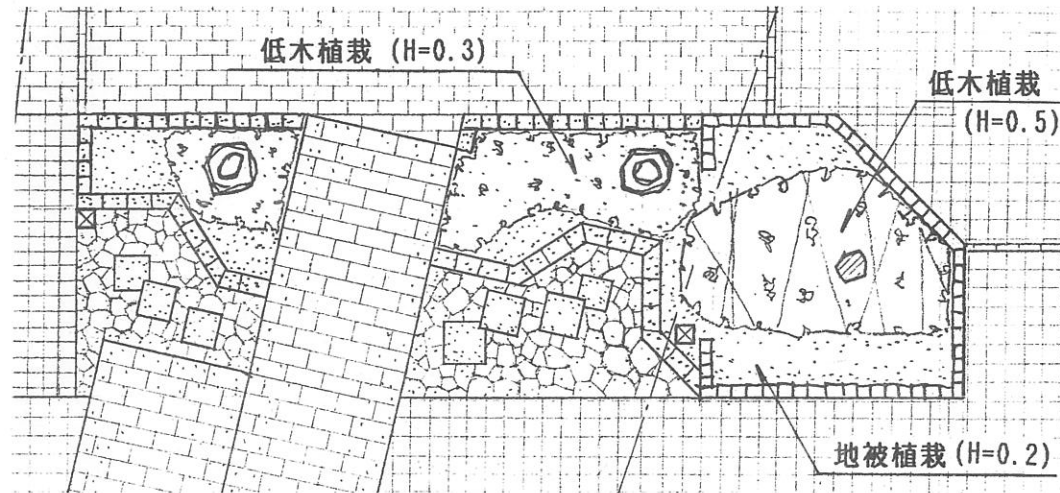


⑤ 植栽計画

前述の植栽パターンにもとづき、それぞれの場所における植栽計画のスタディを行う。

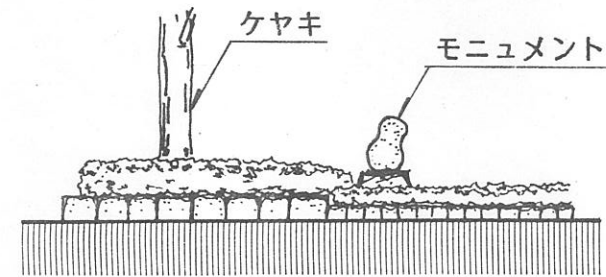
a. 修景のポイントになる箇所の植栽

平面図



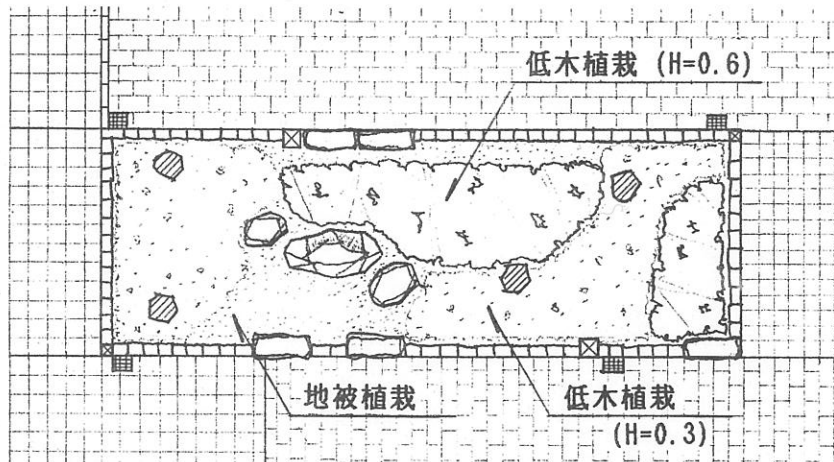
• ケヤキの根元や彫刻の周辺に低木を植栽し、散漫になりがちな空間を引きしめる。

立面図



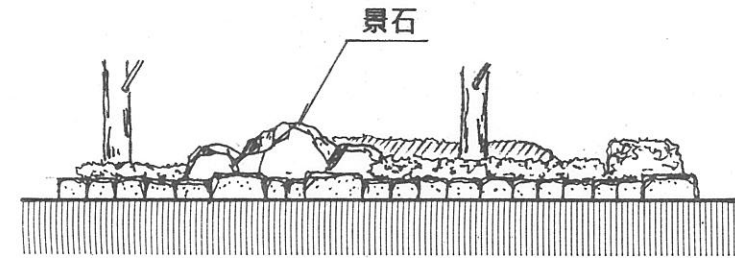
b. 景石・モニュメント等の周辺の植栽

平面図



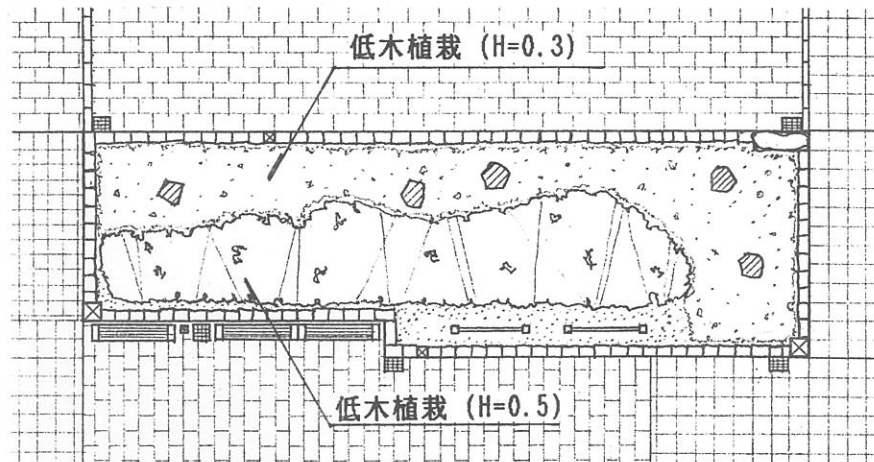
• 景石やモニュメントの背面に比較的高めの低木を植栽し、背景を作る。
• 低木の高さの変化や、低木と地被植物の組み合わせによって、空間に奥行きを持たせる。

立面図



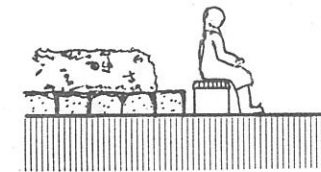
c. ベンチ・掲示板周辺の植栽

平面図



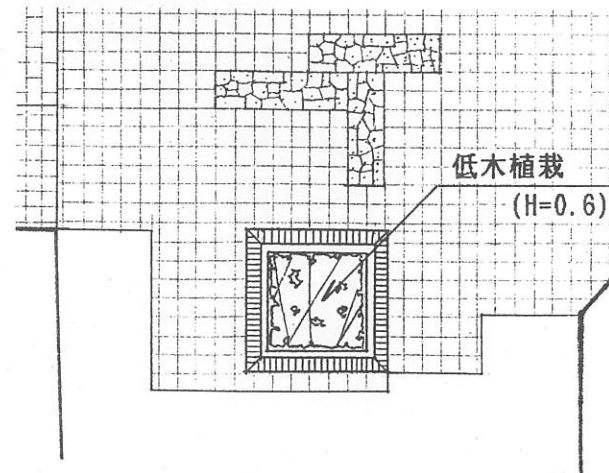
- ベンチの背後や掲示板の背面に、比較的高めの低木を植栽し、イメージ的な壁を形成することにより、落ち着いた雰囲気を感じさせたり視線を集中させることができる。

断面図



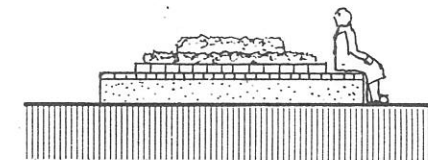
d. 結接点の植栽

平面図



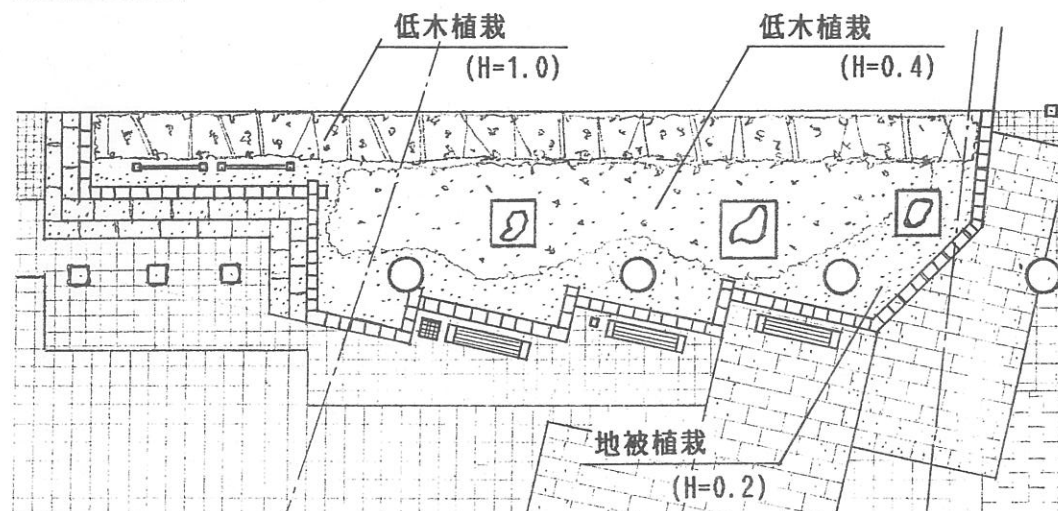
- 街路が交わる点や街路の出入口等に植樹柵を設け、特徴的な樹木や、花木を植栽することにより、空間を印象付ける。

立面図



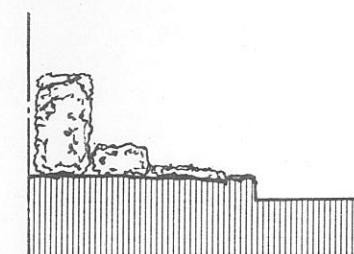
e. 領域を分離する植栽

平面図



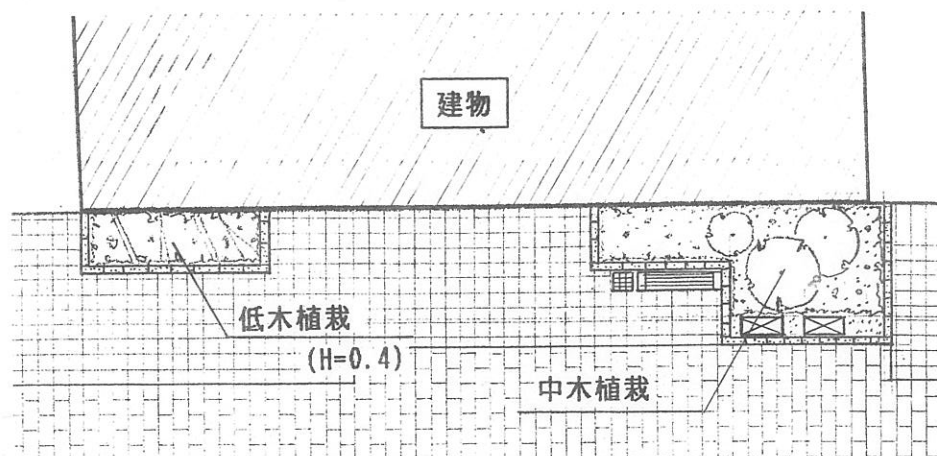
- 境界に遮蔽や仕切りを目的に、比較的高い低木を植栽する。
- 植栽の高さを変化させることにより、歩行者の圧迫感を軽減させる。

断面図



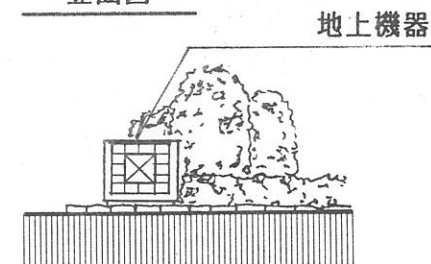
f. 建物前の修景植栽

平面図



- 建物前や出入口に低木や花木などを植栽し、出入口を特徴付けるとともに、建物の「かたさ」を和らげる。
- 地上機器の周囲に中木や低木を植栽し、施設の印象を軽減する。

立面図



V. 整備プログラム

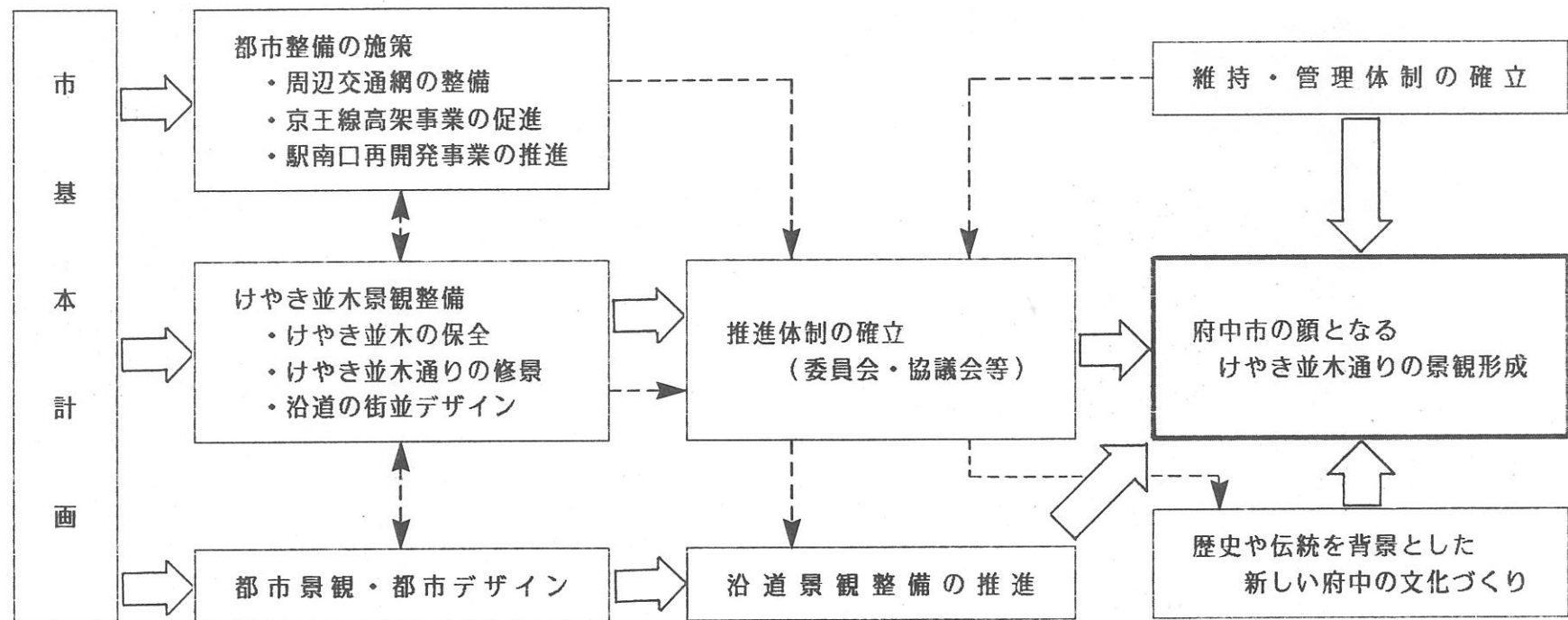
5-1 景観整備の位置付け

けやき並木景観整備は、市の総合計画を基に策定されたグリーンシティ計画の重点施策として位置付けられ、「水と緑のネットワーク」の中心となるシンボルゾーンとして、けやき並木の保全を前提に、市の顔となる都市景観の形成を目指すものである。

このような都市景観の形成は、けやき並木通り自体の整備の他に、沿道の街並がけやき並木と調和するような街並のデザインや、周辺道路網の整備、維持管理体制の確立、さらにはイベント等を通じての新しい文化づくりが平行して推進されることが必要である。また、現在進行中である京王線高架事業や、駅南口再開発事業等も景観形成に大きく関連する。

このように、景観整備の推進にあたっては、けやき並木をとりまく都市環境の整備と相互関連するところが多く、将来の景観形成の視点、景観イメージを明確に捉え、段階的・計画的に整備推進していくことが必要である。

また、けやき並木景観形成は、まちづくりの中における位置を明確にし、相互に関連する事業やそれぞれの役割を整理し、推進体制を整えることが重要である。



5-2 整備プログラム

けやき並木の景観整備は、関連する都市整備プロジェクトと相互関連するところが多く、また、景観整備の方策も多岐にわたる。

段階的な整備を円滑に推進するための施設別整備プログラムを、以下のように設定する。

景観整備の項目	整備期間			備考
	短期 (1~5年)	中期 (6~10年)	長期 (11~15年)	
緑地帯の整備 ケヤキの保護・補植 土壌基盤の向上 緑地帯の拡幅・縁石の改良 雨水利用施設整備 散水設備整備 低木・地被植栽	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 保護・保全対策の継続 初期整備と共に定期的な整備を継続 中期は新たに拡幅された箇所の改修 中期は新たに拡幅された箇所の植栽
歩道空間の向上 中央車道部のモール化 側道部の一体化 舗装の改良	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 短期は、通行時間帯の制限等によって交通量の減少を図る。 中期は、側道の迂回路の整備が前提となる。 中期は、側道との一体化による舗装の改修が含まれる。
道路内景観の向上 電線の地中化 ストリートファニチャー整備 京王線高架下の整備	●	●	●	
関連事業整備 駅南口再開発事業 京王線高架事業 周辺交通網の整備	●	●	●	

5-3 沿道景観整備の進め方

景観形成、創造にあたっては、対象とする地区の景観整備の方針と共に、景観形成の手法（しくみ）を確立し、市民、事業者、及び自治体が協力しながら都市景観の向上を図る必要がある。

府中市の現状は、このような景観形成の手法が明確でないため、行政担当者の熱意と関係者の意識に頼るのみとなっている。また、建築行政が東京都にあり、情報や具体的データ不足等、自治体が主導権をもって景観形成を直接的にコントロールする基礎的条件が満足されていない状況である。

一方、景観形成の制度は自治体の特性によって位置づけが異なり、条例や要綱によるもの、行政内部の基準のみによるもの、任意の協定によるもの等があげられ、法律的地からは次のような意見が述べられている。

「都市美の条例は、市・市民・事業者が共通の目標に向って、相互批判・協力する過程を示す、いわば責務条例、ないし啓発条例的なものがふさわしいと考える。さらに、条例という形をとることは、新しい行政課題である都市美の推進により民主的な根拠を与えることになる。」

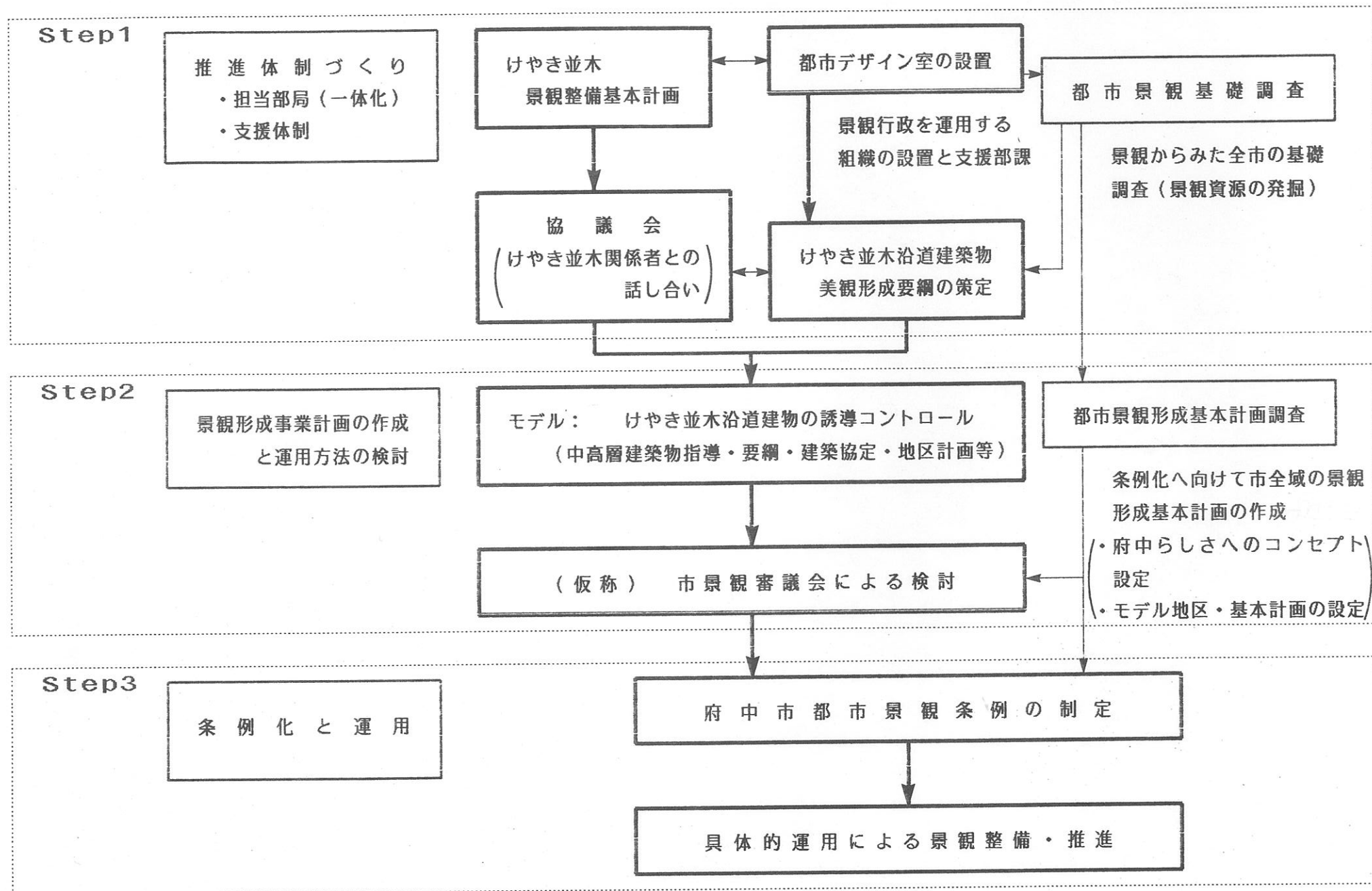
（「尼崎市都市美条例に係る基本的考え方について-S.59.9」より

真砂泰輔 関西学院大学法学部教授）

このように景観条例といえども、実際には財産権の制度に係ることであり、景観誘導にあたっては要綱による指導・協議と法的根拠を持った条例化が望ましいと言える。

よってここでは、けやき並木沿道景観整備への早期対応や、市の現状を考慮し、要綱の策定・景観条例制定への段階的移行を提案する。

景観整備の進め方（案）



・建築指導課の設置……景観行政の効率的運用を図るためには、建築行政とのタイアップが必要であり、建築行政の都から市への移管による建築指導課の設置が望まれる。

けやき並木景観整備基本計画

平成2年3月

発行：府中市

計画・編集：府中市グリーンシティ事業本部
(株)アーバンデザインコンサルタント